



医療措置協定の調整状況と今後の取組について

神奈川県 医療危機対策本部室

2024年2月5日

医療措置協定締結に向けた調整状況 1 / 4

1/31時点

・医療機関と調整を継続するため計画目標達成率は変動する。

		協定内容	計画目標値	調整状況	計画目標達成率
①	確保予定病床数	【流行初期】 公立・公的のみ	980床	1,141床※1	116.4%
		【流行初期以降】	2,200床	1,954床	88.8%
②	発熱外来対応機関数 (診療患者数※3)	【流行初期】	350機関 (4,200人)	512機関※2 (7,567人)	146.3%
		【流行初期以降】	2,200機関 (19,818人)※4	1,195機関 (15,236人)	54.3%

※1 県が定める協定締結基準(一般病床の5%程度)を満たす公立・公的医療機関等の病床数を集計

※2 県が定める協定締結基準(診療患者数・検査数:病院20人・件/日、診療所6人・件/日)を満たす医療機関数

※3 医療機関(病院・診療所)で対応可能な1日あたりの診療患者数を集計したもの

※4 令和4年7月27日の県内最多新規感染者数(自主療養届出者含む)

医療措置協定締結に向けた調整状況 2 / 4

1/31時点

	協定内容		計画目標値	調整状況	計画目標達成率
③	自宅療養者等への医療の提供を行う機関数		2,600機関	2,227機関	85.7%
	病院・診療所		900機関	701機関	77.9%
	薬局		1,500機関	1,351機関	90.1%
	訪問看護事業所		200機関	228機関	114.0%
④	新興感染症の対応を行う医療機関の後方支援を行う医療機関数（病院）	【流行初期】	69機関	141機関	204.3%
		【流行初期以降】	69機関	160機関	231.9%

医療措置協定締結に向けた調整状況 3 / 4

1/31時点

	協定内容	計画目標値	調整状況	計画目標達成率
⑤	感染症医療担当従事者等の確保人数 (派遣可能な医療人材数)			
	感染症医療担当従事者	900人	654人	72.7%
	医師	250人	170人	68.0%
	看護師	380人	283人	74.5%
	その他	270人	201人	74.4%
	感染症予防等業務関係者	300人	410人	136.7%
	医師	85人	124人	145.9%
	看護師	105人	143人	136.2%
	その他	110人	143人	130.0%

医療措置協定締結に向けた調整状況 4 / 4

1/31時点

	協定内容	計画目標値	調整状況	計画目標達成率	
⑥	個人防護具の備蓄を行う医療機関数	8割以上	(調査中)	(調査中)	
⑦	検査の実施能力 (検査の実施件数)	【流行初期】	5,000件/日	-	-
		地方衛生研究所	1,100件/日	1,100件/日	100.0%
		医療機関(病院・診療所)	3,900件/日	約9,000件/日	230.8%
		民間検査機関			
		地方衛生研究所の検査機器数	17台	17台	100.0%
		【流行初期以降】	20,000件/日	-	-
		地方衛生研究所	1,100件/日	1,100件/日	100.0%
		医療機関(病院・診療所)	18,900件/日	約17,000/日	89.9%
		民間検査機関			
		地方衛生研究所の検査機器数	17台	17台	100.0%
⑧	宿泊療養施設 (確保居室数)	【流行初期】	500室	(調整中)	(調整中)
		【流行初期以降】	2,900室		

目標未達成項目に関する今後の取組

目標未達成項目

流行初期以降の発熱外来対応機関数 【54.3%】

流行初期以降の確保病床 【88.8%】

自宅療養者等への医療の提供を行う機関数
(病院・診療所、薬局) 【77.9%、90.1%】

派遣可能な医療人材数 (感染症医療担当従事者)
【72.7%】

流行初期以降の検査実施能力 【89.9%】

今後の取組

新型コロナ対応時の発熱外来医療機関のうち、調査未回答の医療機関 (約1,100機関) に対し、個別架電により協力を依頼

定期的に対象機関に対し、協力への呼び掛けを実施



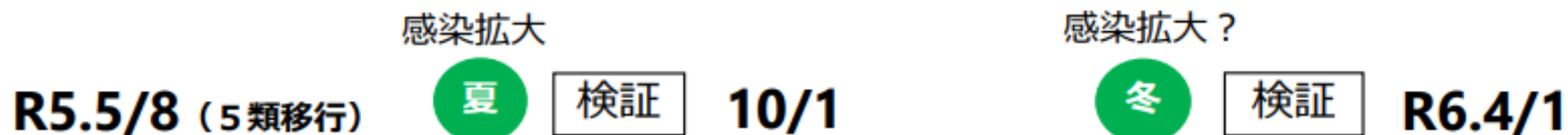
令和 6 年 4 月以降の 新型コロナウイルス感染症対応

神奈川県医療危機対策本部室

2024年 2 月 5 日 ver.1.0

医療提供体制等

通常医療との両立を更に強化し、重点的・集中的な支援により、冬の感染拡大に対応しつつ、通常の医療提供体制へ段階的に移行



新たな体系に向けた取組の実施

○幅広い医療機関による自律的な通常の対応への移行

- ・冬の感染拡大に先立ち、対応医療機関の維持・拡大を促進(外来の拡大、軽症等の入院患者の受入)

取組の見直し・重点化

○冬の感染拡大に備えた重点的・集中的な入院体制の確保等

- ・確保病床の重点化(重症・中等症Ⅱ、感染拡大の状況に応じた対応)
- ・診療報酬特例、高齢者施設等への支援見直し・継続

新たな体系の実施

診療報酬
介護報酬
同時改定

○通常の対応へ完全移行

- ・確保病床に依らない形での体制
- ・新たな報酬体系(恒常的な感染症対応への見直し)

(令和5年9月15日厚生労働省公表)

1 終了する取組について

項目	現在の取組
入院	○感染状況に応じた「段階」ごとの病床確保料の補助 ○設備整備等の補助
外来	○外来対応医療機関の指定・公表 ○設備整備等の補助
高齢者施設 対応	○陽性者発生後の集中検査（行政検査）の実施 ○1人でも陽性者が発生した場合の施設から保健所への報告 ○施設内療養に対する補助
医療費支援	○治療薬に対する支援 ○入院医療費に対する支援
相談窓口	○体調急変時の相談、発熱時等の受診相談

終了予定

※国から新たな
対応方針が示さ
れない場合

2 今後も継続する取組について

項目	現在の取組
ワクチン接種	○特例臨時接種として、秋冬に1回接種を実施、高齢者等はさらに春夏に1回接種を実施



令和6年4月以降の取組
○年に1回の定期接種化（B類）

項目	現在の取組
サーベイランス	○定点医療機関による週次の発生動向把握・公表 ○変異株サーベイランス、下水疫学調査による発生動向把握
罹患後症状対応	○コロナ罹患後症状に係る一次受け医療機関の登録・公表



令和6年4月以降の取組
○継続（季節性インフルエンザ等の他の感染症と同様の取扱い） ○継続
○継続

全数把握疾患保健所別累積報告数

【令和6（2024）年 1月10日現在 感染症発生動向調査による】

	総計	二類		三類感染症							四類感染症											五類感染症																			
		結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス	オウム病	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
2018年総数	4606	1590		15	300	2		46	95				15	22			1	1	114	2	77	17	233	8	36	18	56	76	6	35	1	225	53	354	11	5	4	766	414	6	2
2019年総数	4039	1485	1	3	189	6	2	49	41		1		21	36		6		152		81	20	207	3	65	11	71	71	3	38	6	206	41	273	12	3	2	548	291	94		
2020年総数	2359	1163		3	173	1	1	39	7	1			29	1		3		113	1	54	17	122	2	32	4	49	65	2	22		104	27	222	5	5	7	75	9	1		
2021年総数	2382	1103			254			62	4	1	1		17	2	1			108		58	17	123	1	17	7	40	67	3	12		91	18	336	12	5	1	20	1			
2022年総数	2477	1013			224	1	1	67	8		1		26	7	3	1		116	1	40	20	126	4	27	12	57	39		13		84	29	523	8	3	2	17	1	1	2	
2023年総数	2859	956		4	326	2	2	65	4	5	1	1	12	17	1	2	1	144		45	16	126	3	40	7	67	49	3	47		137	48	659	11	5	2	48	2	1	1	
横浜市	1155	390			175		2	26	2		4		1	7		2		51		17	4	41		7	3	28	23	2	19		51	22	268	2		1	5	1		1	
川崎市	617	225			74			16						5	1			12		8	8	29	3	15	2	15	10	1	9		24	8	127		3		21			1	
相模原市	198	77		1	15	1		2				1		1				21		5	1	12		4		3	2		2		9	3	30	5	1		1				
県域	889	264		3	62	1		21	2	1			11	4				60		15	3	44		14	2	21	14		17		53	15	234	4	1	1	21	1			
横須賀市	120	37		1	6			4										11		3	1	8			1	4	3		4		10		15				12				
藤沢市	190	40			21	1		7					1	2				14		3	2	18		9	1	3	1		6		14	4	40			1	1	1			
茅ヶ崎市	63	25			3													6											1		6	3	17	1			1				
平塚	69	17			5								1					2		1		2				4	2		1		3	2	29								
秦野センター	88	28			4			4	2	1			2	1				9				4				6	5		4		2	2	14								
鎌倉	67	28		2	1			2										2		1		3		1		2	2		1		9	1	10	2							
三崎センター	6	4																				1															1				
小田原	61	21			4								1					5		1		2		3		1	1			4	1	16				1					
足柄上センター	23	2			6			2					4					3				1								1		4									
厚木	139	36			4			2					2	1				7		2		5		1		1				2		72	1			3					
大和センター	63	26			8													1		4										2	2	17		1		2					

定点把握対象疾患週別報告数推移

(2024年 1月15日現在 感染症発生動向調査による)

1 インフルエンザ／COVID-19 定点

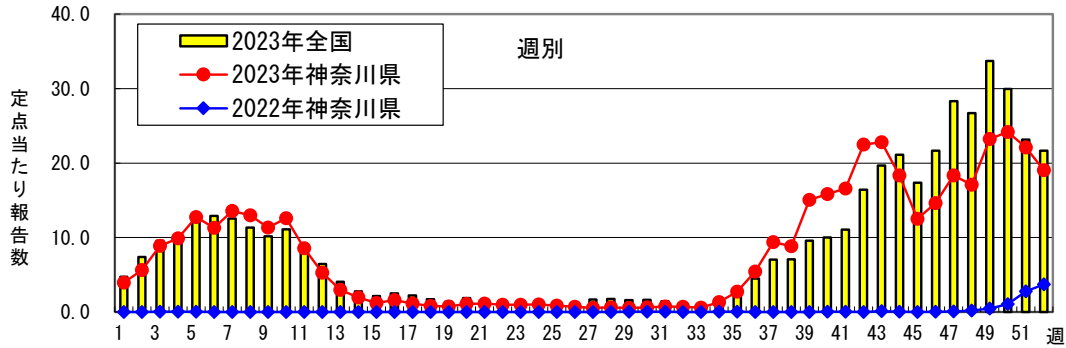
対象疾患名：インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)

新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)

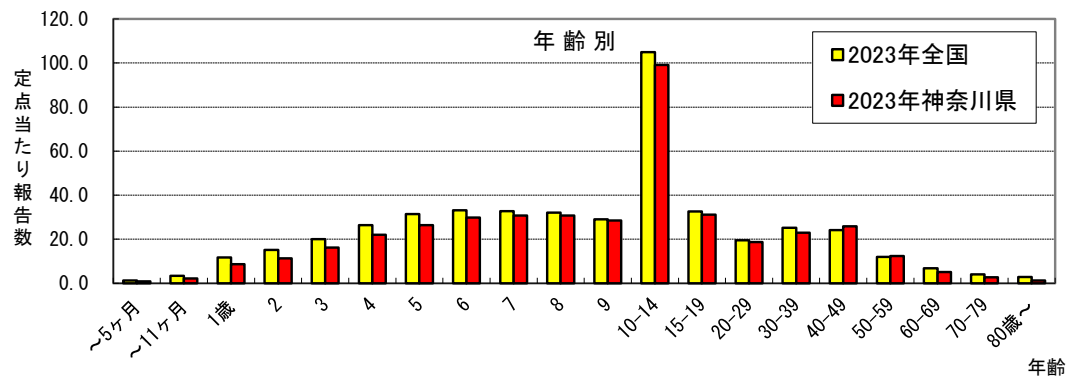
定点医療機関数：全国約5,000カ所、神奈川県約360カ所

【インフルエンザ】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)

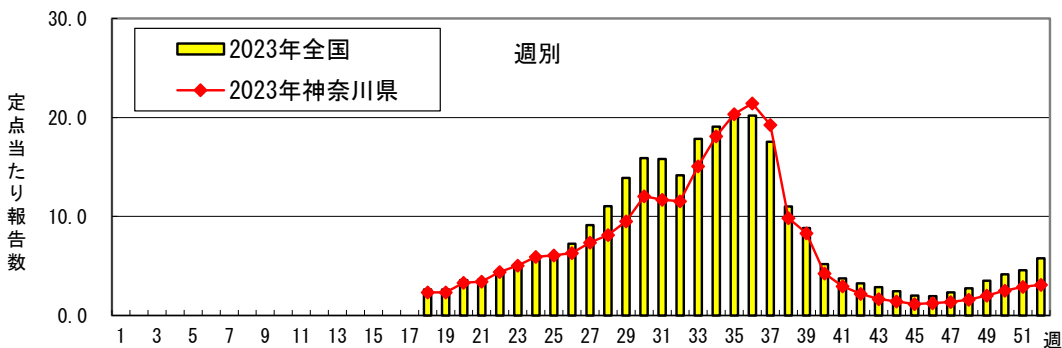


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

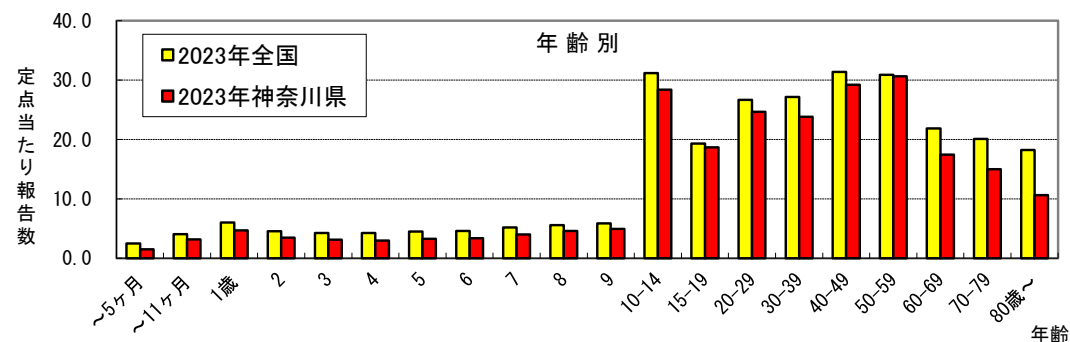


【新型コロナウイルス感染症】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)



○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

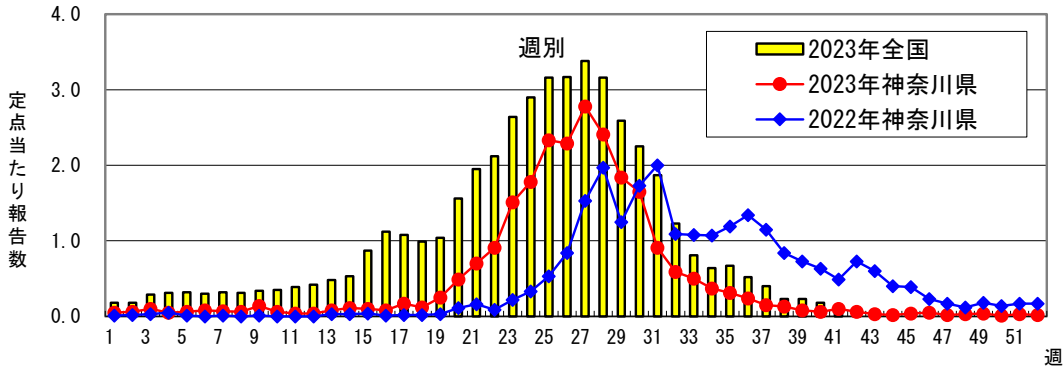


2 小児科定点

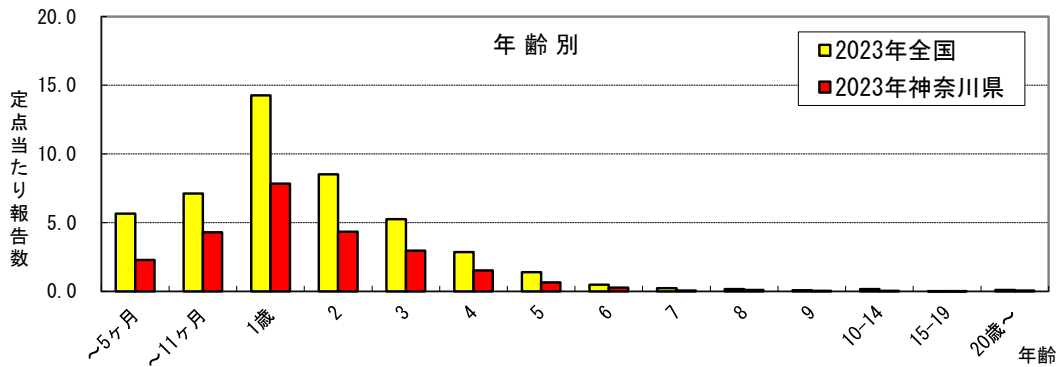
対象疾患名：RSウイルス感染症・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・流行性耳下腺炎
定点医療機関数：全国約3,000カ所、神奈川県約230カ所

【RSウイルス感染症】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)

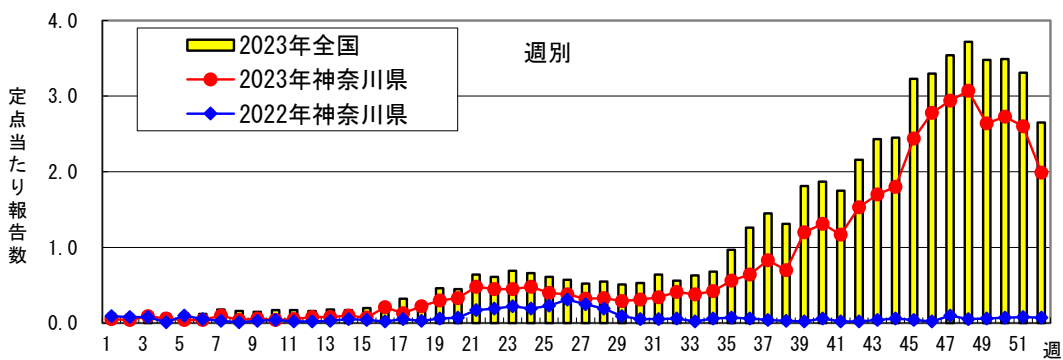


○ 年齢別定点あたり報告数(2023年)

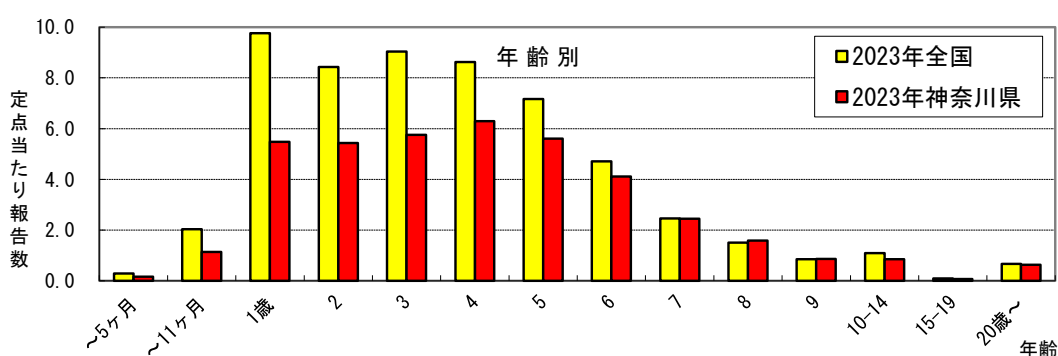


【咽頭結膜熱】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)

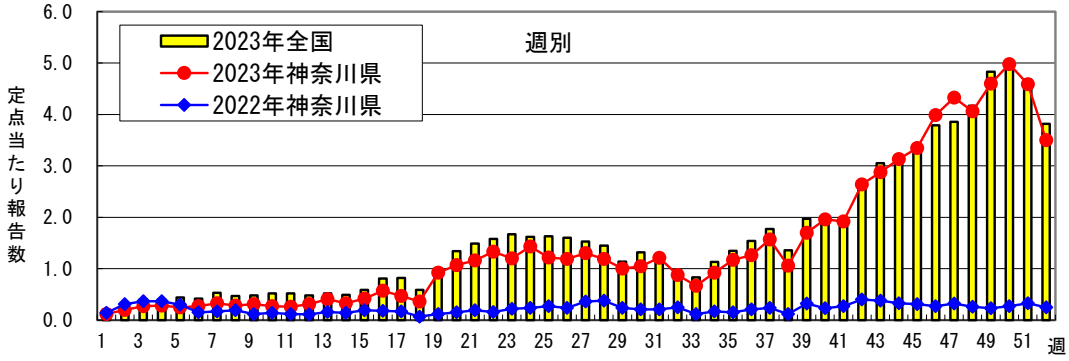


○ 年齢別定点あたり報告数(2023年)

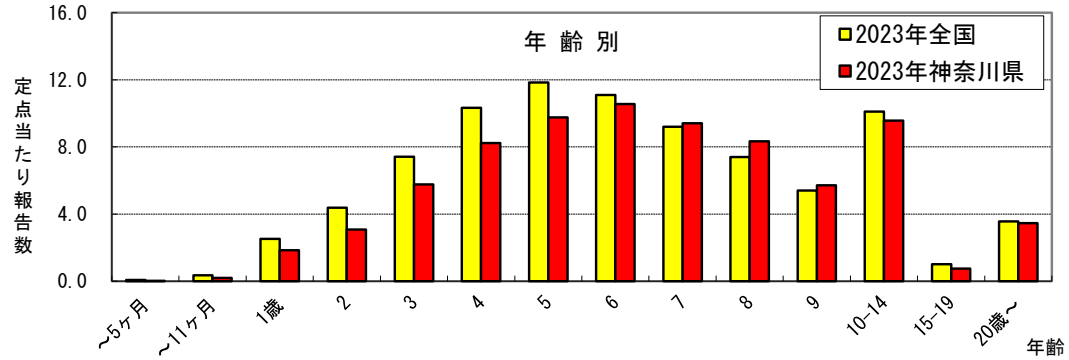


【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

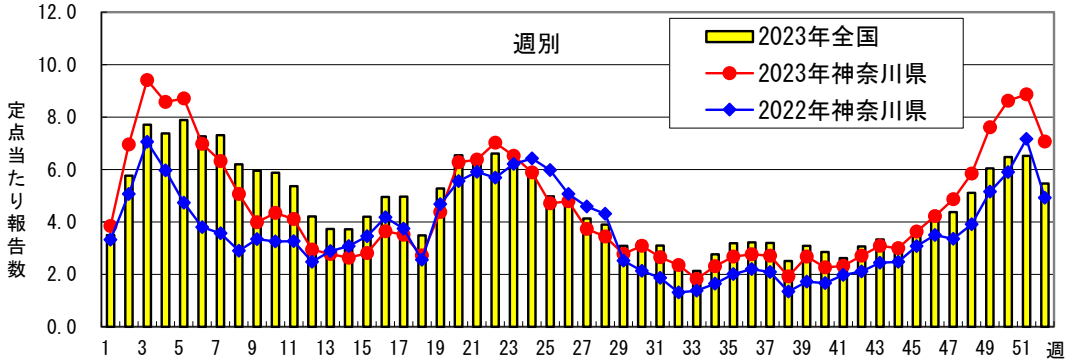


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

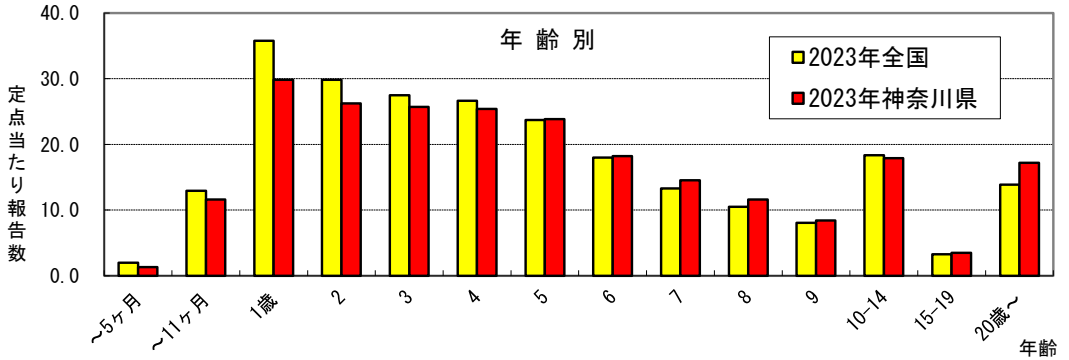


【感染性胃腸炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

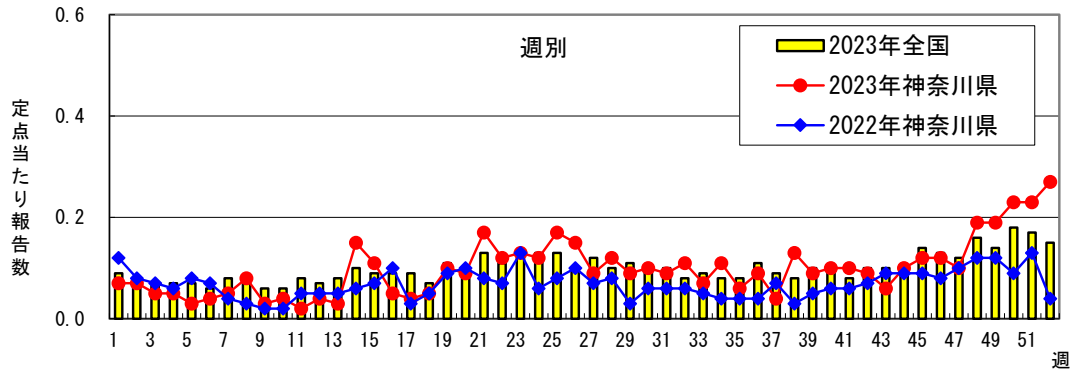


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

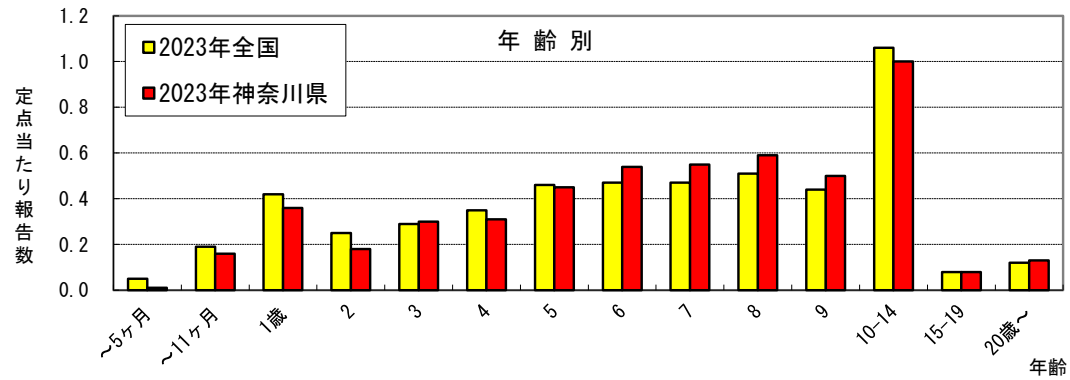


【水痘】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

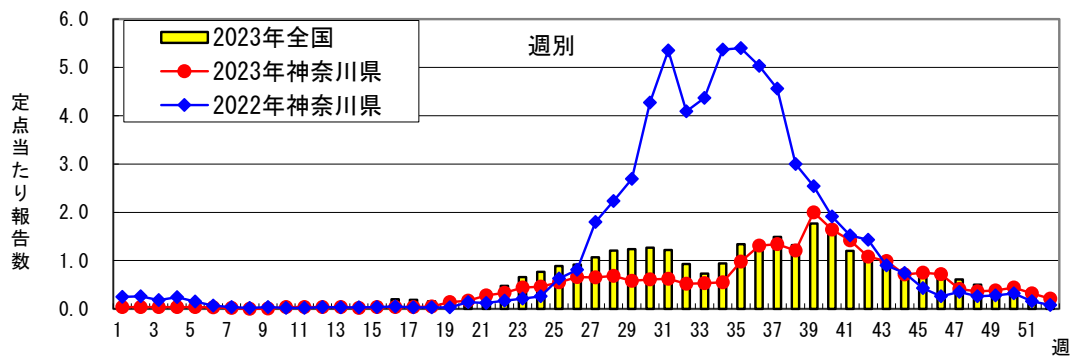


○ 年齢別定点点あたり報告数(2023年)

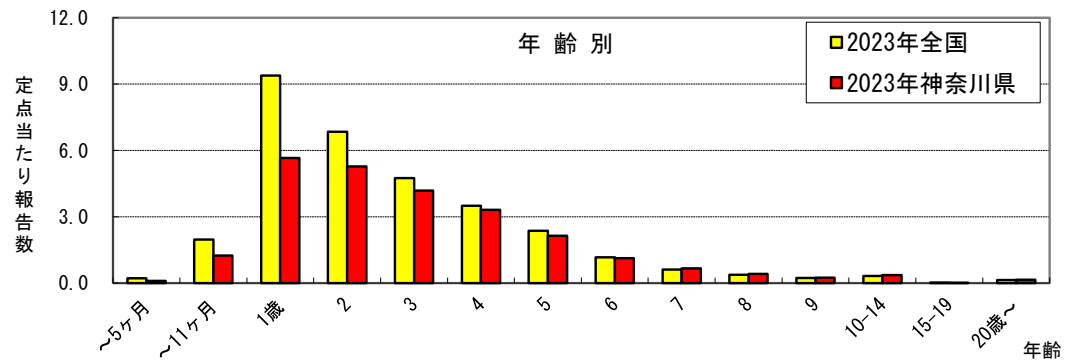


【手足口病】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

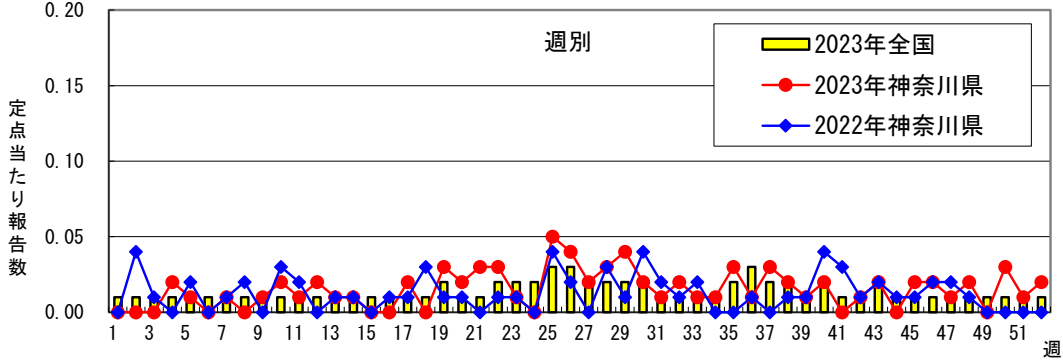


○ 年齢別定点点あたり報告数(2023年)

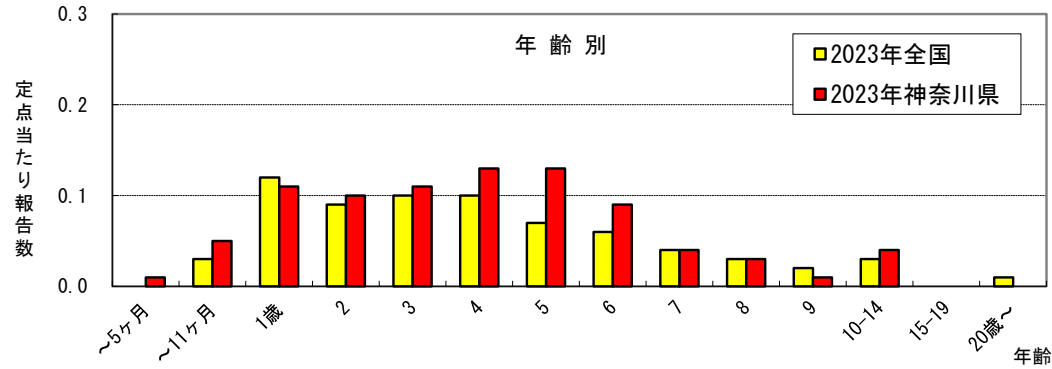


【伝染性紅斑】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

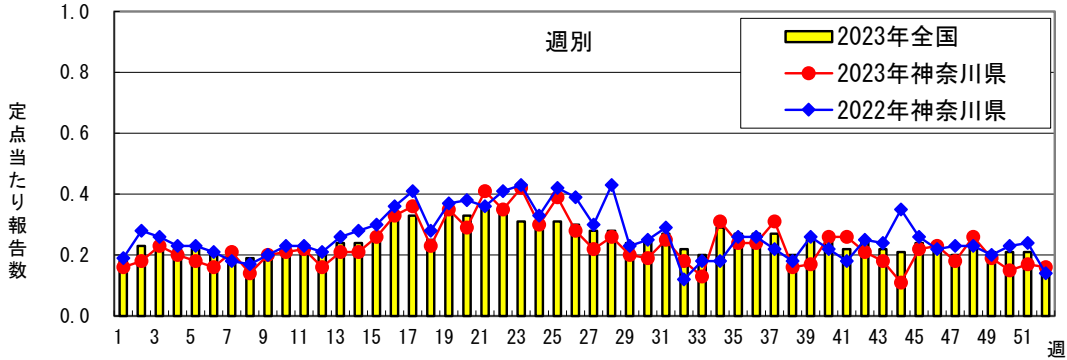


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

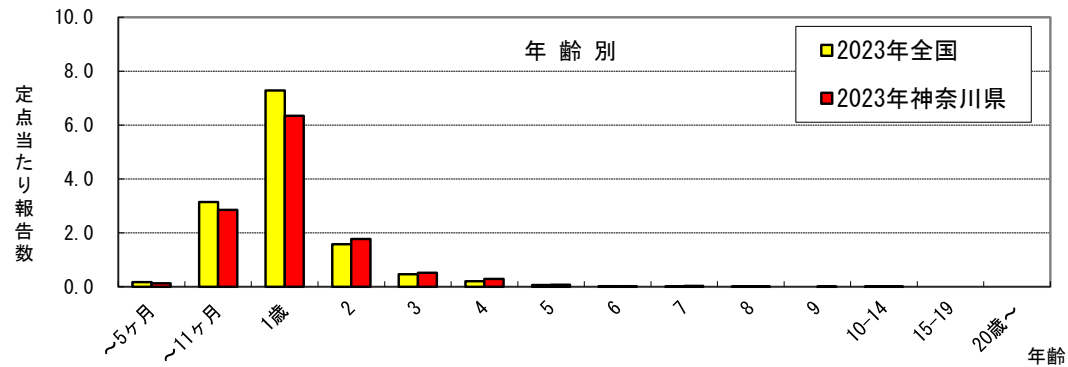


【突発性発しん】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

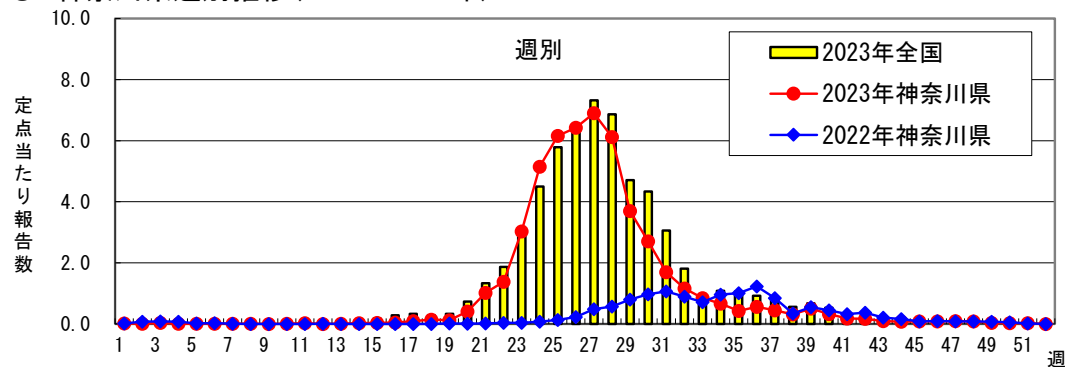


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

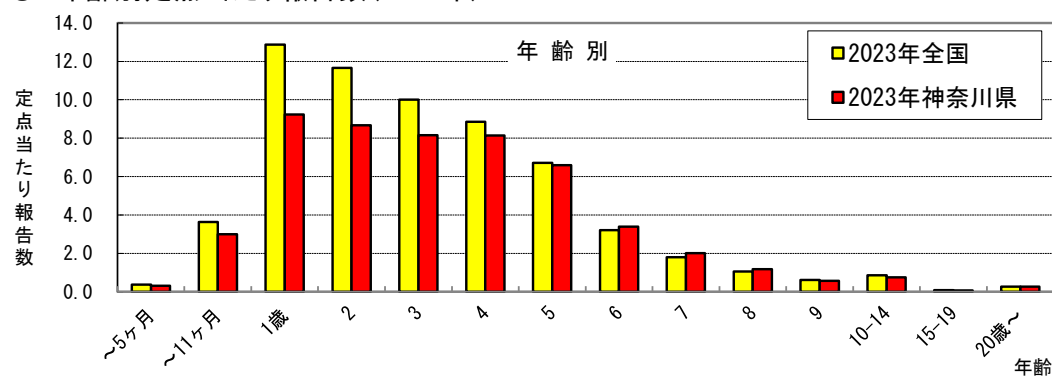


【ヘルパンギーナ】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

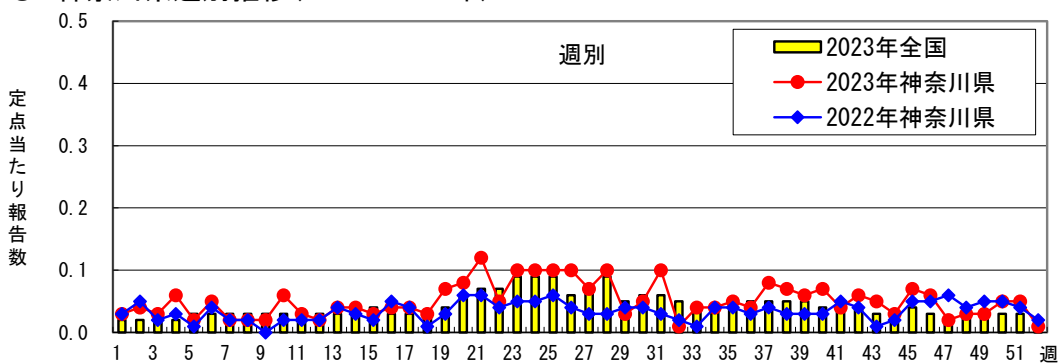


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

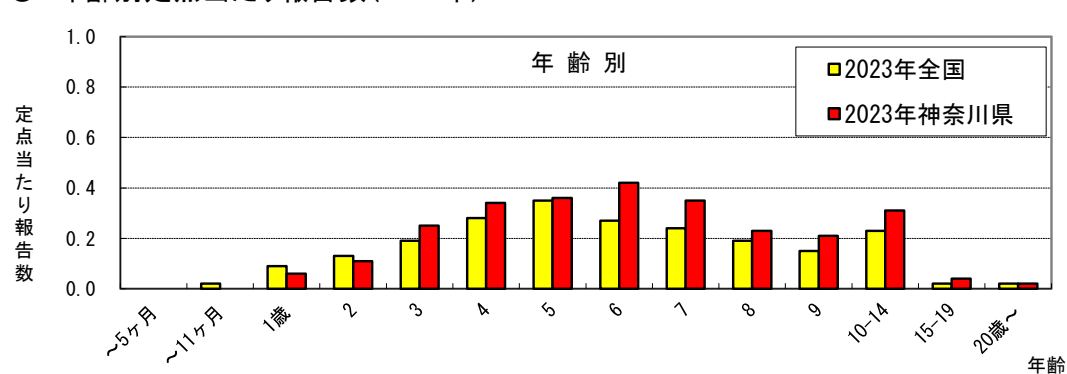


【流行性耳下腺炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)



○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

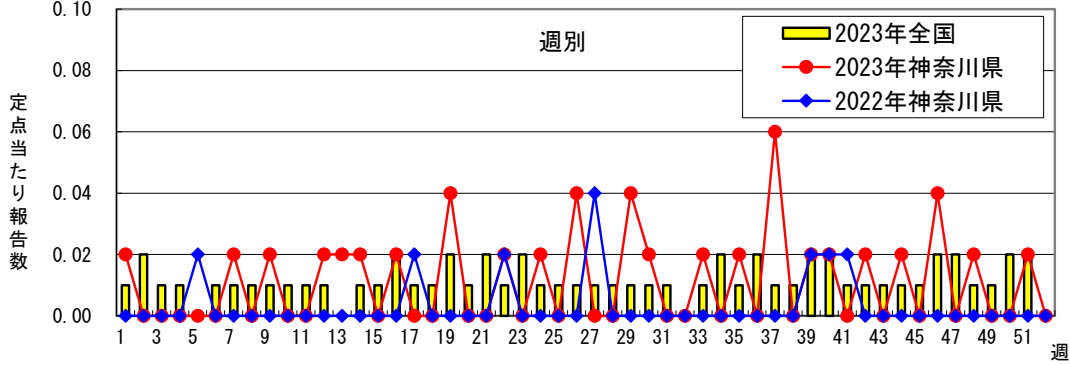


3 眼科定点

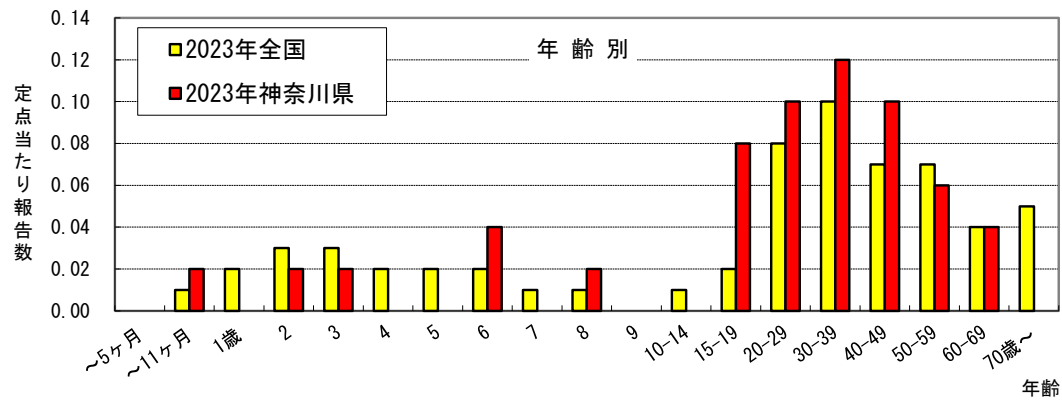
対象疾患名：急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎
 定点医療機関数：全国約600カ所、神奈川県約50カ所

【急性出血性結膜炎】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)

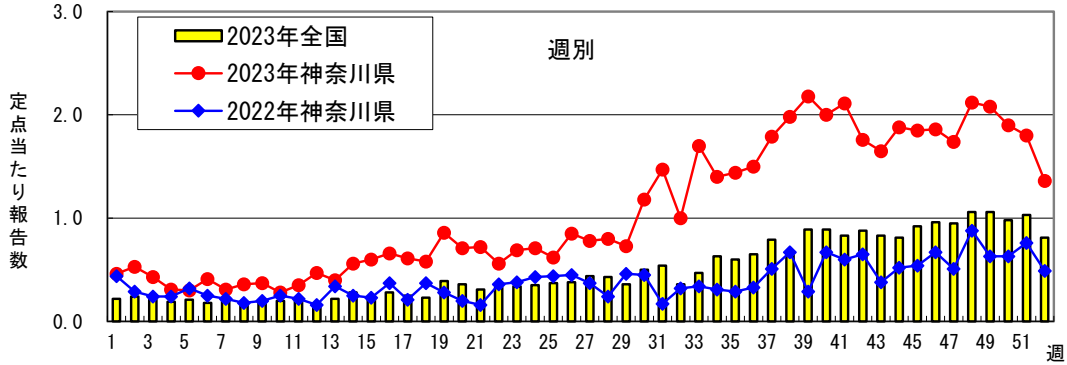


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

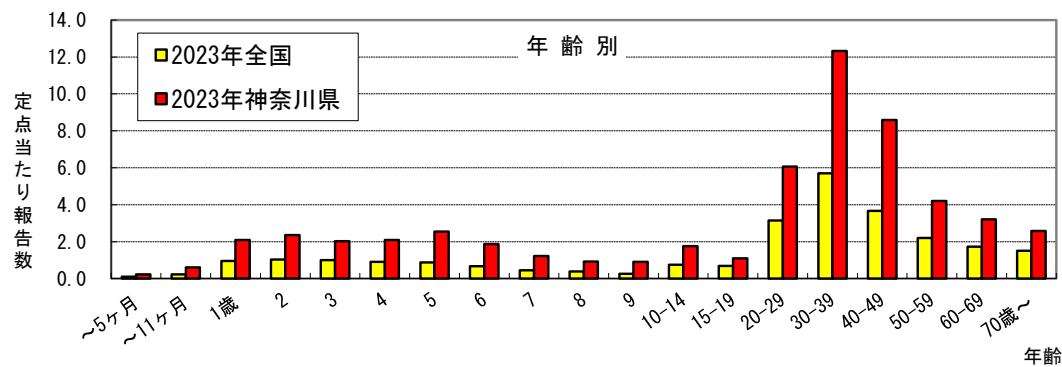


【流行性角結膜炎】

○ 神奈川県週別推移(2022～2023年)



○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)



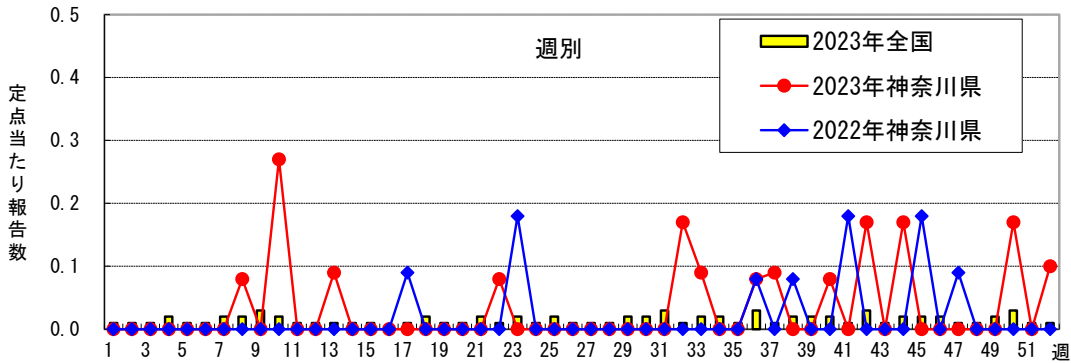
4 基幹定点(週報対象疾患)

対象疾患名:細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)・無菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎(オウム病を除く)・感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)

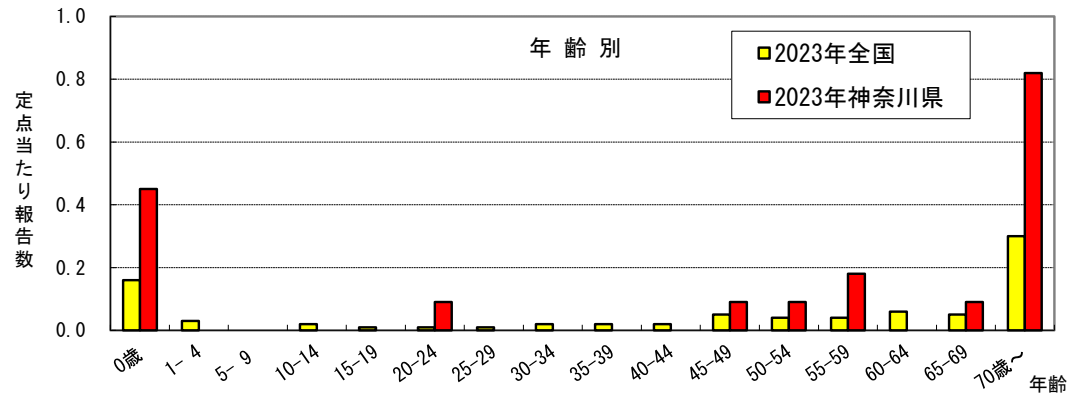
定点医療機関数:全国約500カ所、神奈川県12カ所

【細菌性髄膜炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

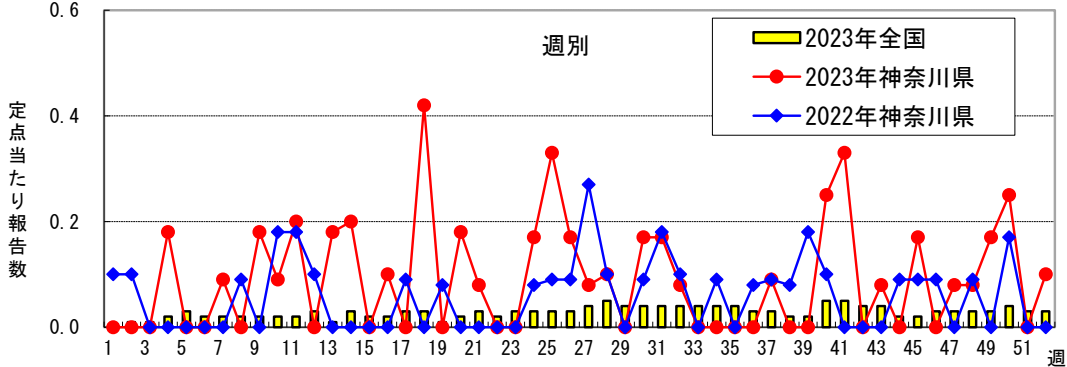


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

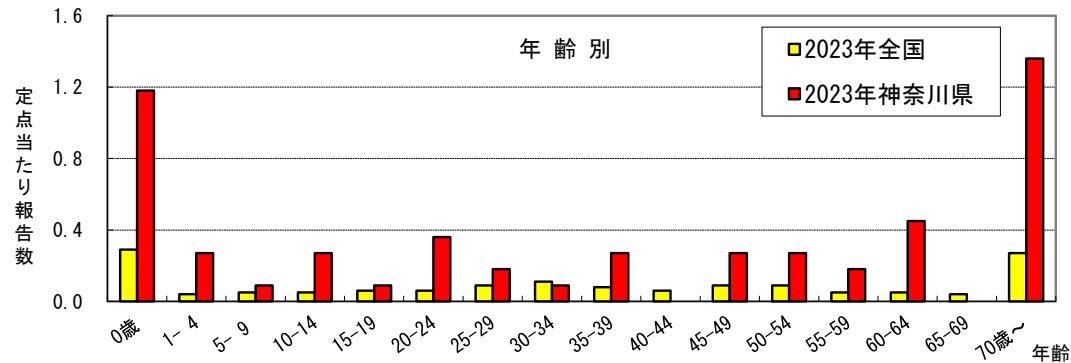


【無菌性髄膜炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

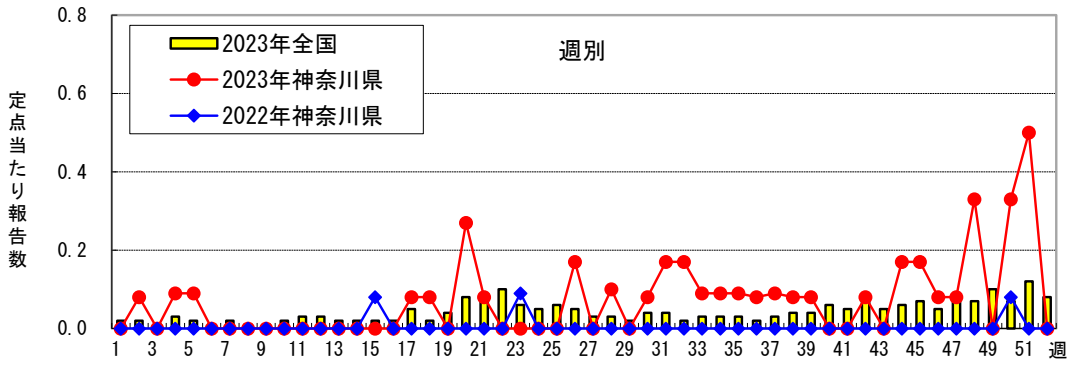


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

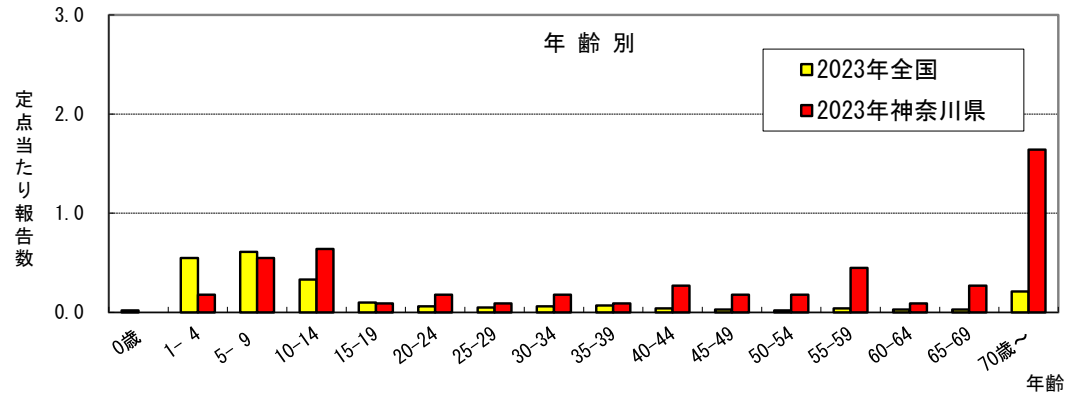


【マイコプラズマ肺炎】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

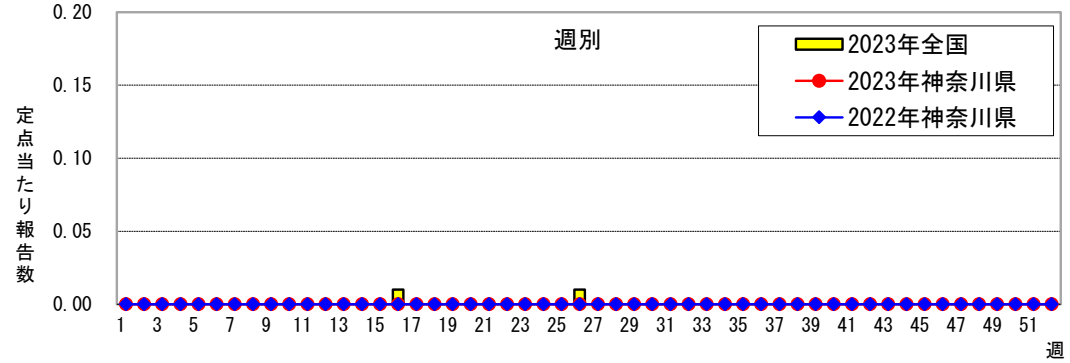


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

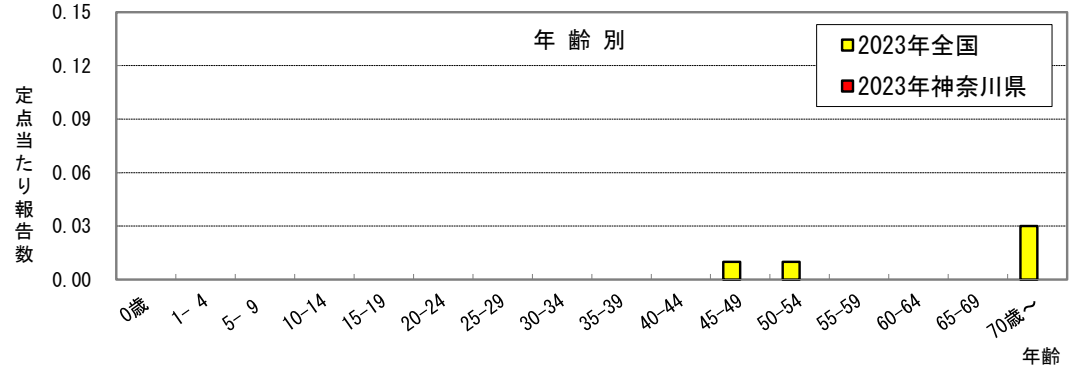


【クラミジア肺炎(オウム病を除く)】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)

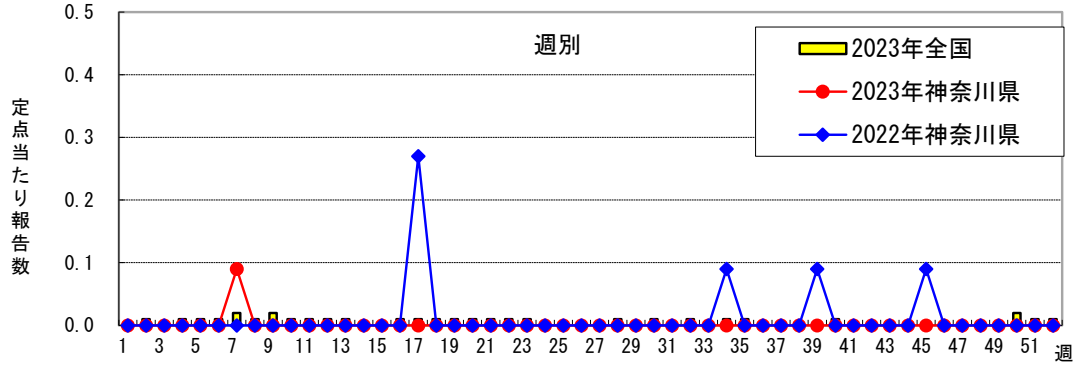


○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

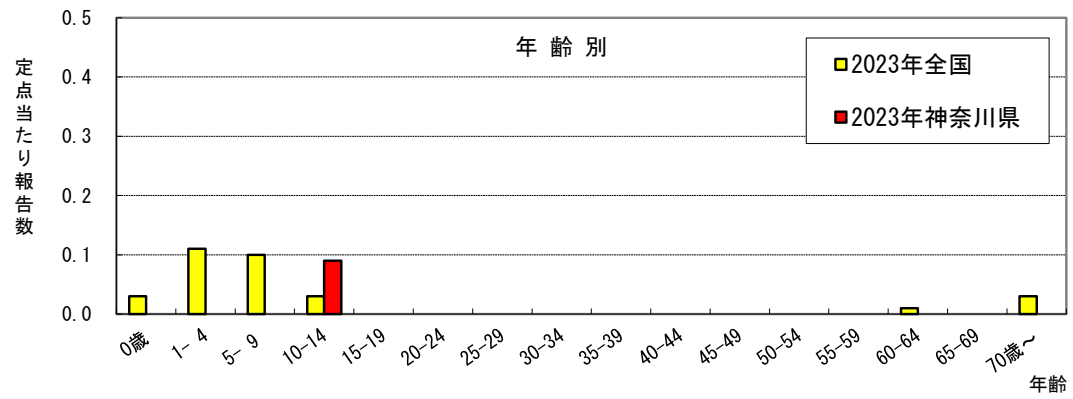


【感染性胃腸炎(ロタウイルス)】

○ 神奈川県週別推移(2022~2023年)



○ 年齢別定点当たり報告数(2023年)

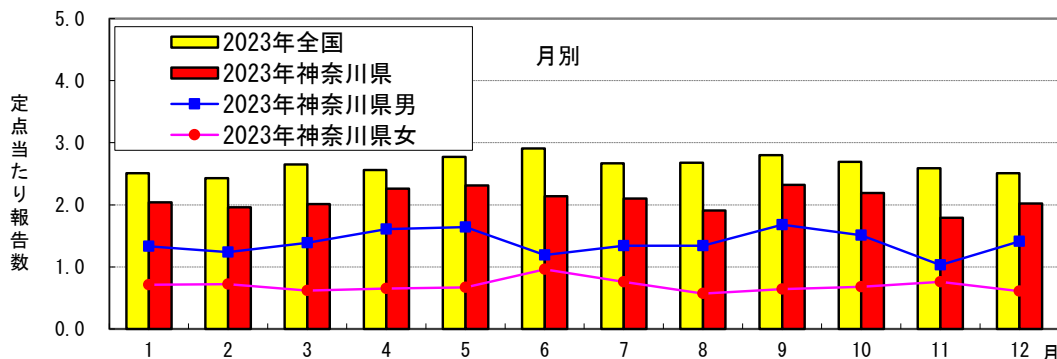


5 性感染症定点

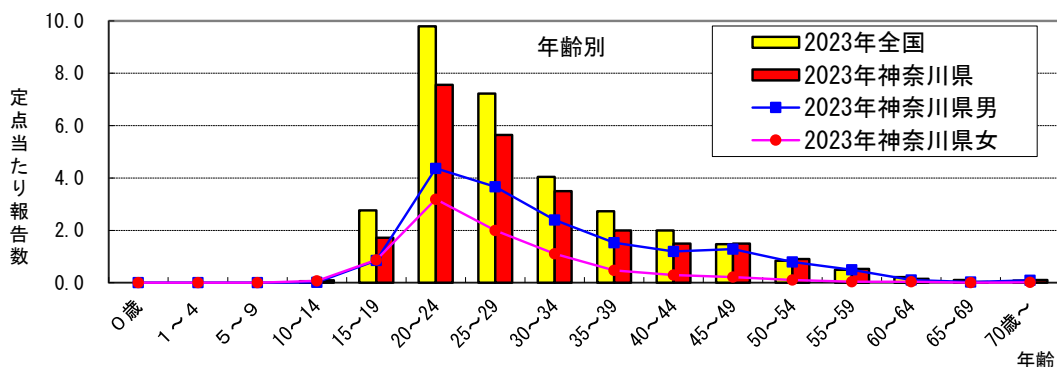
対象疾患名：性器クラミジア感染症・性器ヘルペスウイルス感染症・尖圭コンジローマ・淋菌感染症
 定点医療機関数：全国約1,000カ所、神奈川県約

【性器クラミジア感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)

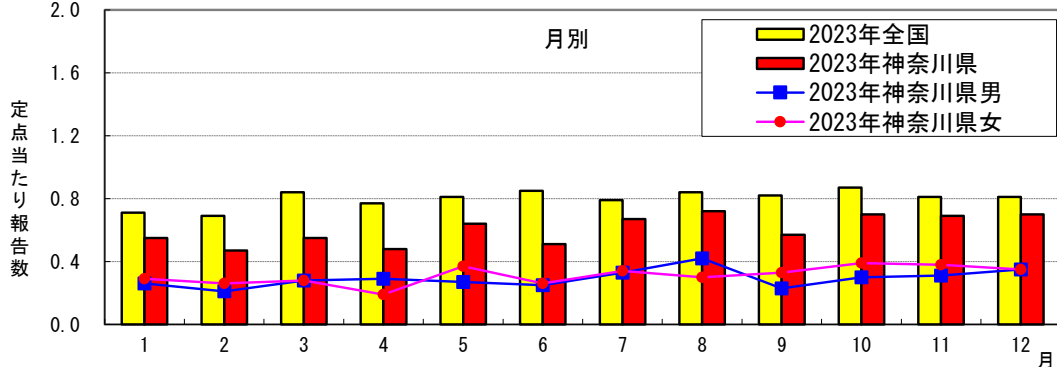


○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

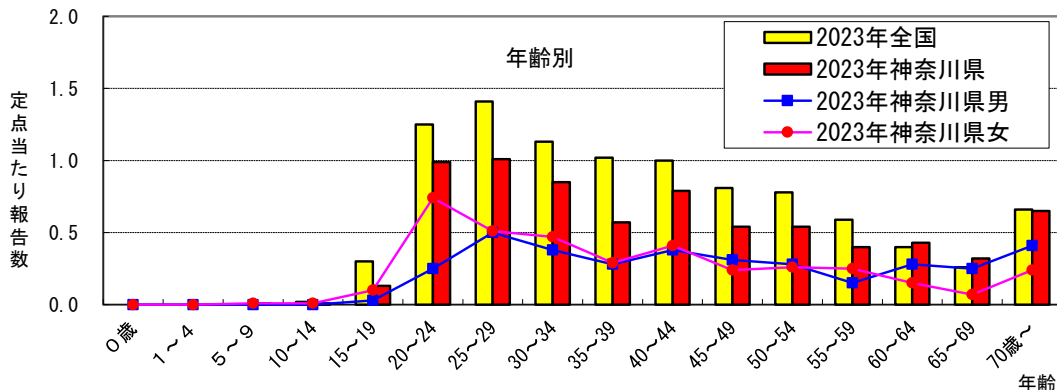


【性器ヘルペスウイルス感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)

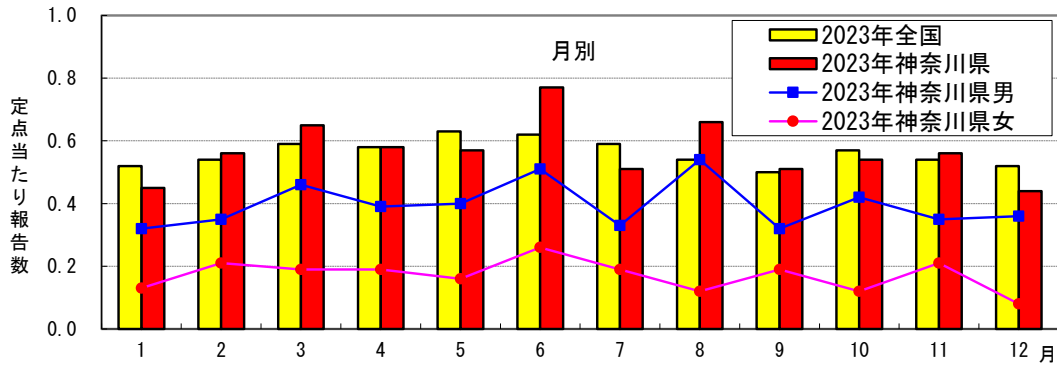


○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

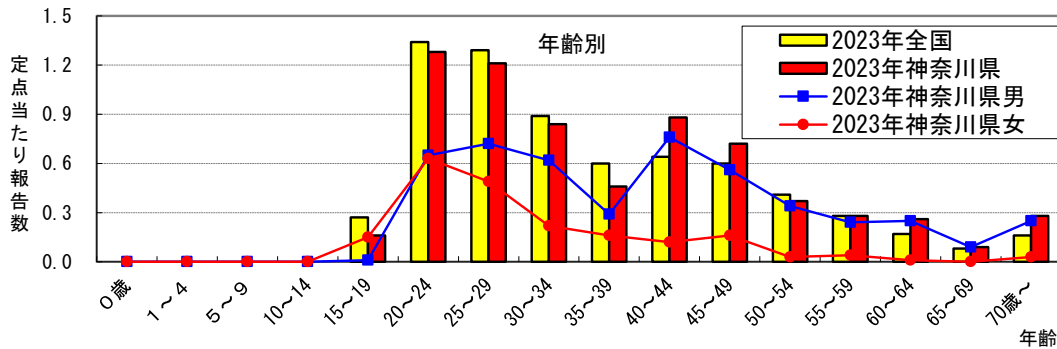


【尖圭コンジローマ】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)

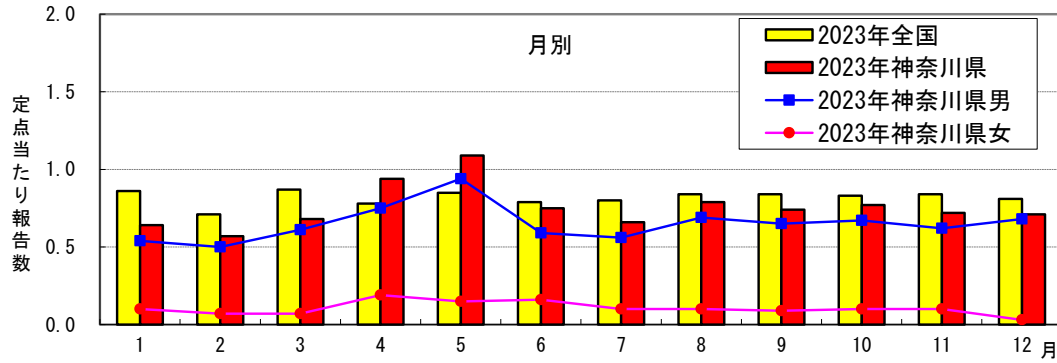


○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

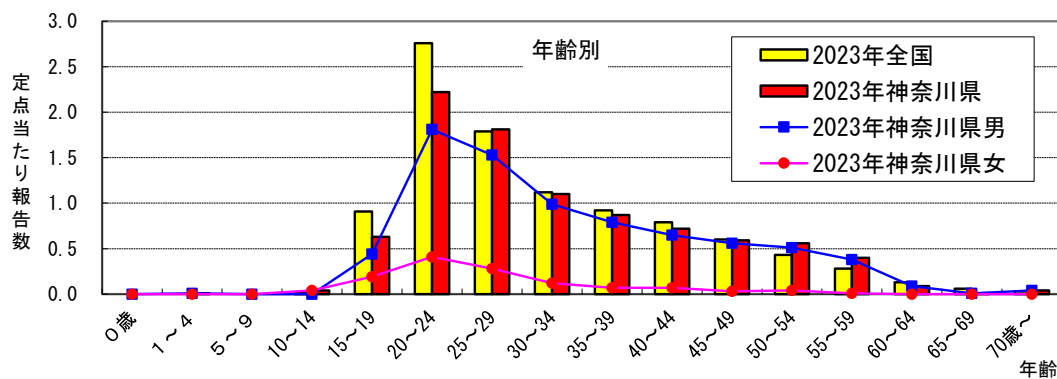


【淋菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)



○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)



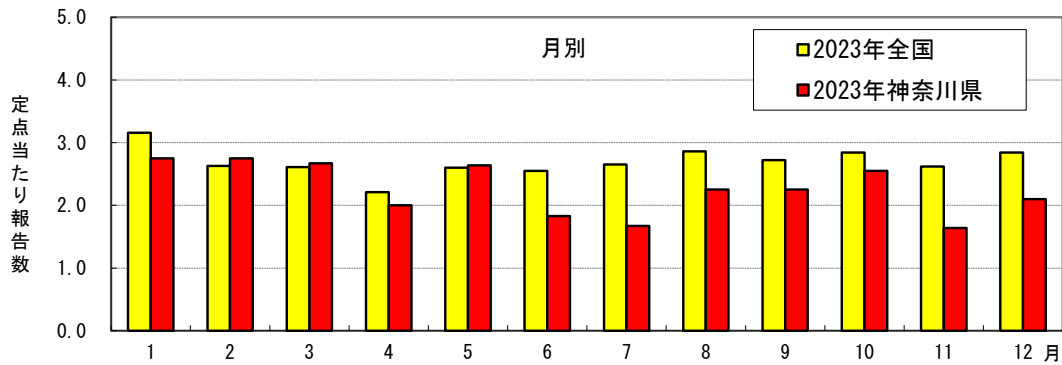
6 基幹定点(月報対象疾患)

対象疾患名:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症・薬剤耐性緑膿菌感染症

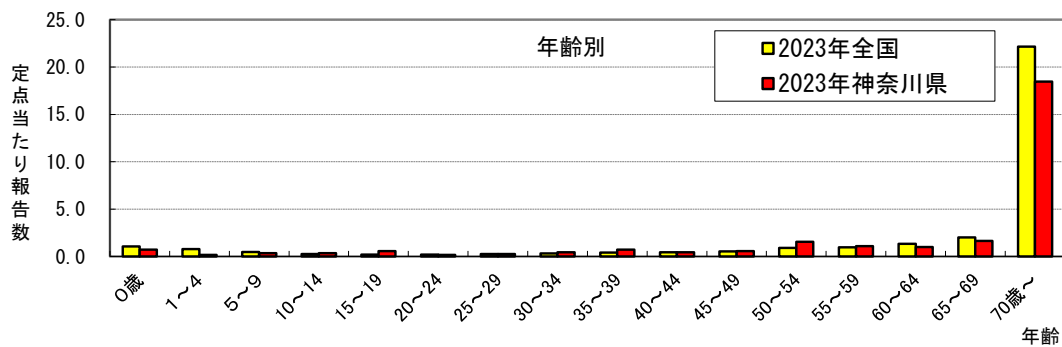
定点医療機関数:全国約500カ所、神奈川県12カ所

【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)

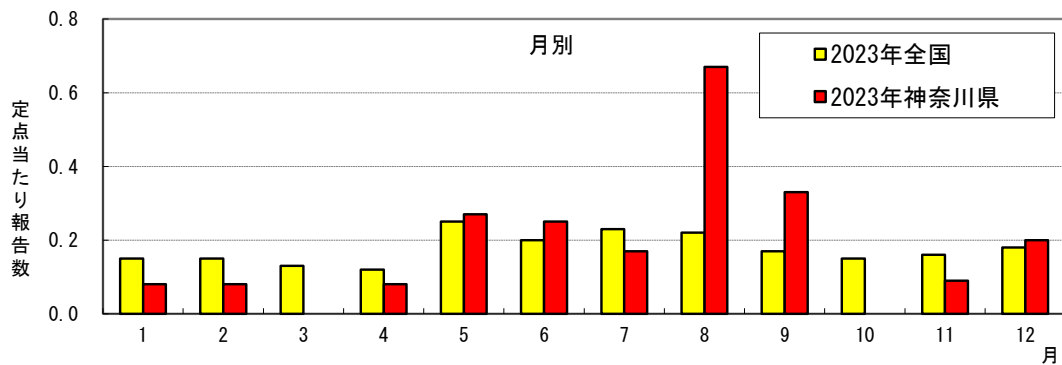


○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

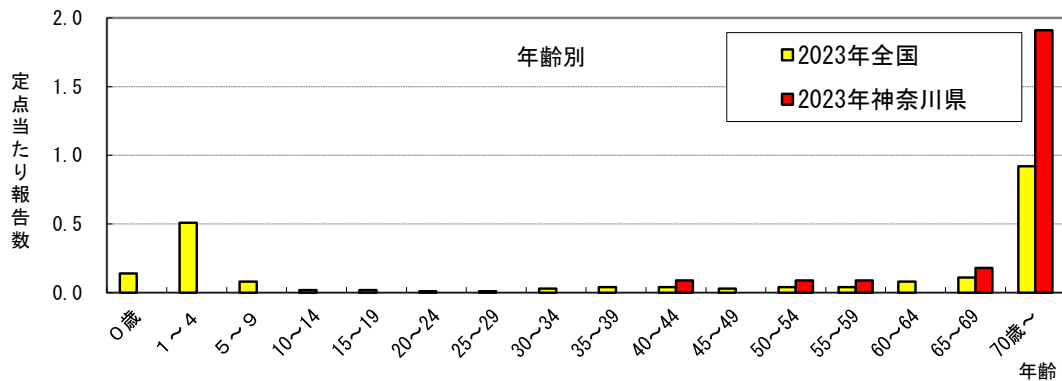


【ペニシリン耐性肺炎球菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)

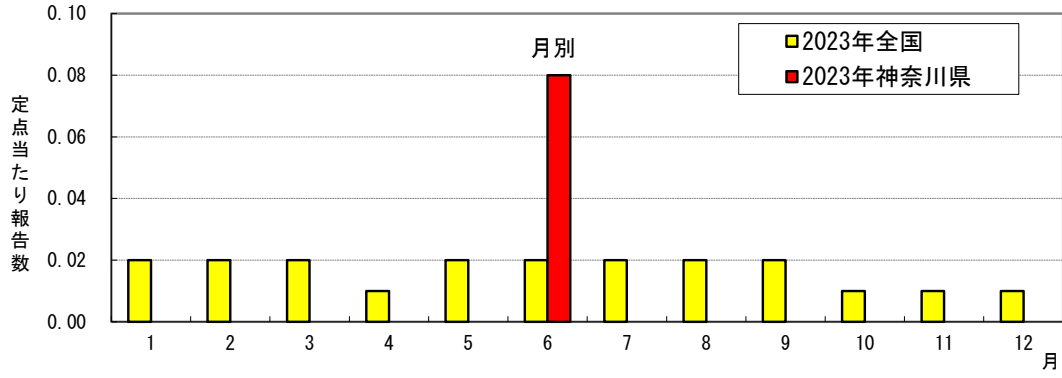


○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

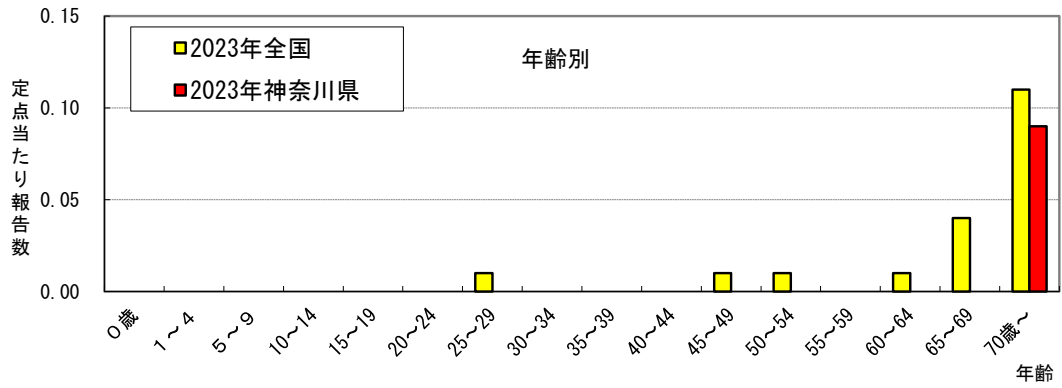


【薬剤耐性緑膿菌感染症】

○ 神奈川県月別報告数(2023年)



○ 神奈川県年齢別報告数(2023年)

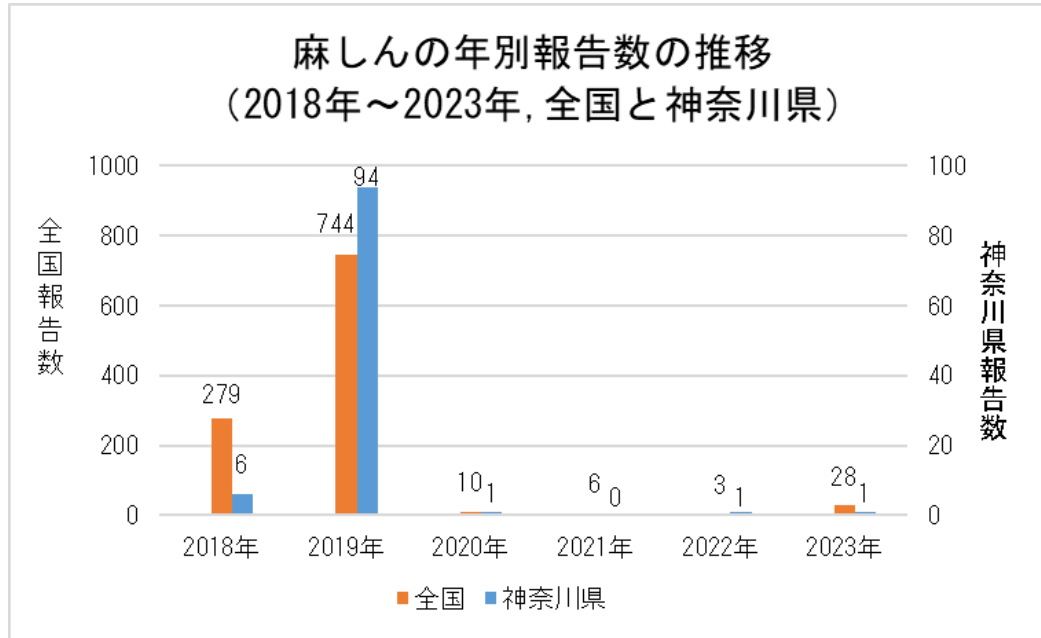


麻疹風しん対策について

1 麻疹の発生動向（2018年～2023年,感染症発生動向調査より）

(1) 麻疹の年別報告数の推移（全国と神奈川県）

2023年の麻疹の報告数は全国28例、神奈川県1例となり、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年以前と比較し、報告数の少ない状況が続いている。



(2) 年齢階級別の報告数（神奈川県）

年齢階級	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1歳未満（定期0回）	1	7	0	0	0	0
1～4歳（定期1回）	0	10	0	0	0	0
5～9歳（定期2回）	0	3	0	0	0	0
10～19歳	0	7	1	0	0	0
20～29歳	2	22	0	0	0	0
30～39歳	2	28	0	0	0	0
40～49歳	0	13	0	0	0	1
50～59歳	1	3	0	0	0	0
60～69歳	0	1	0	0	1	0
70歳以上	0	0	0	0	0	0
合計	6	94	1	0	1	1

(3) 性別・年別の報告数（全国と神奈川県）

	性別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
全国	男性	152	405	5	3	2	19
	女性	127	339	5	3	1	9
神奈川県	男性	2	50	1	0	0	1
	女性	4	44	0	0	1	0

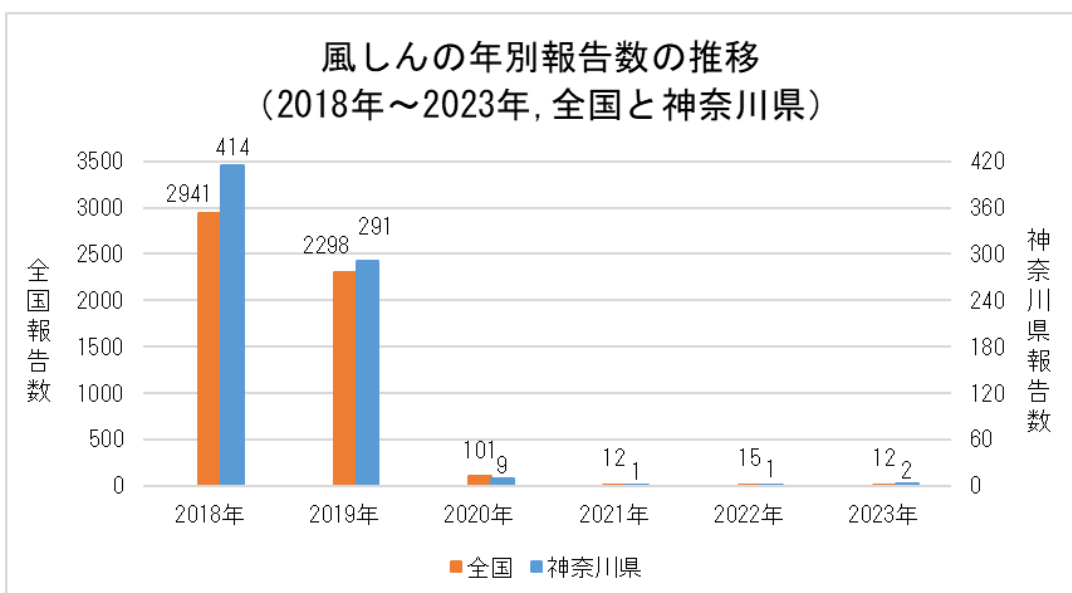
(4) ワクチン接種歴別の報告数（神奈川県）

ワクチン接種歴	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
2回接種	2	13	0	0	0	0
1回接種	3	25	1	0	0	0
不明または記載なし	1	37	0	0	0	1
無し	0	19	0	0	1	0
合計	6	94	1	0	1	1

2 風しんの発生動向（2018年～2023年,感染症発生動向調査より）

(1) 風しんの年別報告数の推移（全国と神奈川県）

2023年の風しんの報告数は、全国12例、神奈川県2例となり、麻疹同様、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年以前と比較し、報告数の少ない状況が続いている。先天性風しん症候群の報告数は、2018年以降、全国では2019年に4例、2021年に1例あるが、神奈川県では報告がなかった。（神奈川県は2013年の3例以降、報告なし）



(2) 年齢階級別の報告数（神奈川県）

年齢階級	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1歳未満（定期0回）	0	1	0	0	0	0
1～4歳（定期1回）	4	3	0	0	0	0
5～9歳（定期2回）	1	1	0	0	0	0
10～19歳	12	13	0	0	0	0
20～29歳	83	70	0	1	0	0
30～39歳	120	72	3	0	0	1
40～49歳	115	81	3	0	1	0
50～59歳	69	35	2	0	0	0
60～69歳	9	14	0	0	0	1
70歳以上	1	1	1	0	0	0
合計	414	291	9	1	1	2

(3) 性別・年別の報告数（全国と神奈川県）

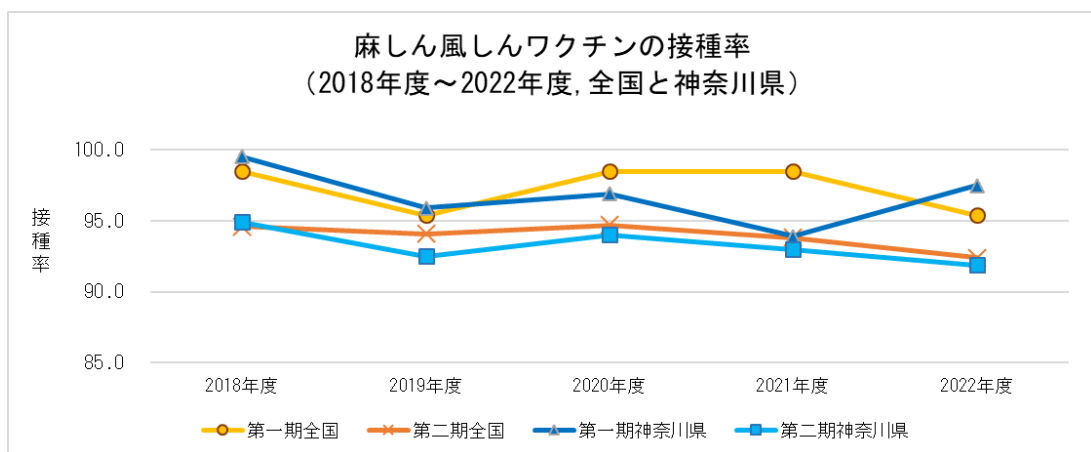
	性別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
全国	男性	2383	1801	71	8	10	7
	女性	558	497	30	4	5	5
神奈川県	男性	338	230	6	1	1	1
	女性	76	61	3			1

(4) ワクチン接種歴別の報告数（神奈川県）

ワクチン接種歴	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
2回接種	6	2	0	0	0	0
1回接種	22	21	1	0	1	1
不明または記載なし	279	205	8	1	0	1
無し	107	63	0	0	0	0
合計	414	291	9	1	1	2

3 予防接種の状況

神奈川県の麻しん風しんワクチンの接種率は、第一期では 2021 年度の接種率が特に低く、厚生労働省が目標とする 95%を下回っている。第二期はいずれの年も 95%を下回っており、接種率が低い状況となっている。



区分	接種年齢	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
		全国	神奈川県	全国	神奈川県	全国	神奈川県	全国	神奈川県	全国	神奈川県
第一期	1歳児	98.5	99.5	95.4	95.9	98.5	96.9	98.5	93.9	95.4	97.5
第二期	小学校就 学前1年間	94.6	94.9	94.1	92.5	94.7	94.0	93.8	93.0	92.4	91.9

2022 年度麻しん風しんワクチンの定期接種状況（市町村別）は、厚生労働省ホームページ「麻しん風しん予防接種の実施状況」をご参照ください

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/hashika.html>

新型コロナウイルス感染症に係る 罹患後症状（いわゆる後遺症） 実態把握調査結果

神奈川県医療危機対策本部室

2023. 12. 25

目次

1	調査概要	2	5-1	調査結果_新型コロナ後遺症がないと回答した人の傾向①	10
2	調査結果_性別・年代別	3	5-2	調査結果_新型コロナ後遺症がないと回答した人の傾向②	11
3-1	調査結果_新型コロナ感染の有無	4	5-3	調査結果_新型コロナ後遺症がないと回答した人の傾向③	12
3-2	調査結果_新型コロナ感染時の症状	5	6-1	調査結果_新型コロナ非感染者の傾向①	13
4-1	調査結果_新型コロナ後遺症の割合	6	6-2	調査結果_新型コロナ非感染者の傾向②	14
4-2	調査結果_新型コロナ後遺症の症状	7	6-3	調査結果_新型コロナ非感染者の傾向③	15
4-3	調査結果_新型コロナ後遺症の影響	8	6-4	調査結果_新型コロナ非感染者の傾向④	15
4-4	調査結果_新型コロナ後遺症の治療・相談	9	7	主な結果	16

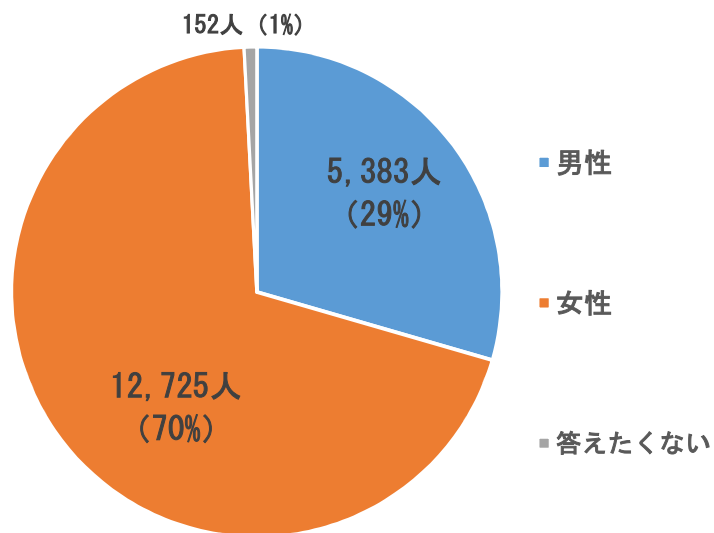
1 調査概要

目的	新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状（いわゆる後遺症）の実態を把握するため
対象	神奈川県LINE公式アカウント「新型コロナ対策パーソナルサポート（行政）」登録者
調査方法	Webフォーム
実施時期	令和5年10月25日（水）～令和5年10月29日（日）
質問内容	後遺症で悩んでいる方の陽性判明方法、後遺症の継続期間、後遺症の治療・相談の状況、新型コロナ感染者のうち後遺症で悩んでいない方の状況、新型コロナ非感染者の状況 ※本調査における新型コロナ後遺症の定義は「新型コロナに罹患した人で、少なくとも2か月以上持続し、他の疾患による症状としては説明がつかないもの」とする
留意事項	○調査結果はWebフォームで回答があったものを集計したものです。対象者の自覚症状等、医師の診断によらない回答も含まれることから、結果に偏りが生じている可能性があります。

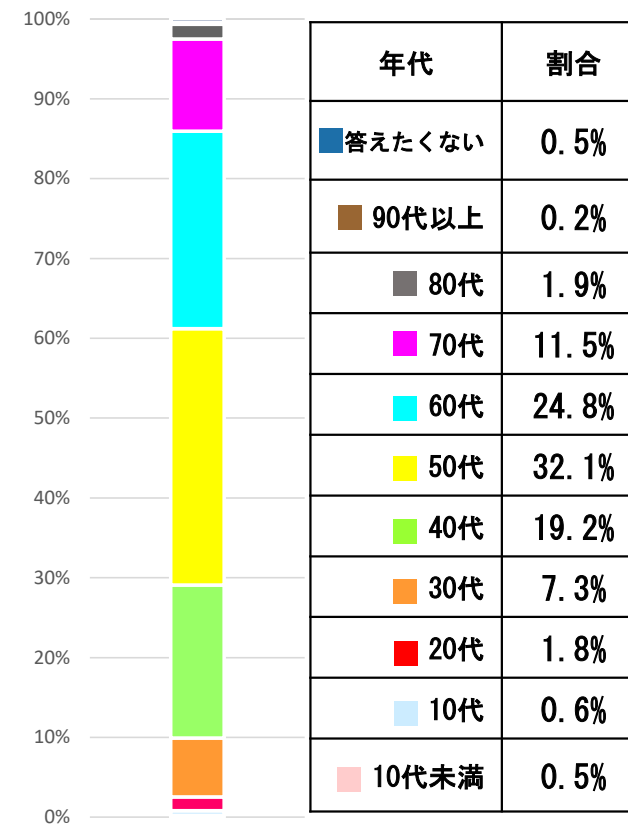
2 調査結果_性別・年代

調査回答数 18,260人

回答者の性別

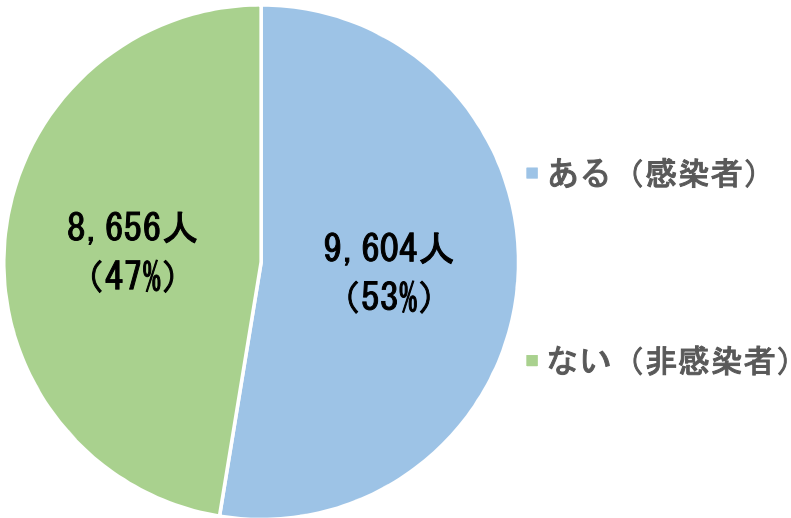


回答者の年代



3-1 調査結果_新型コロナ感染の有無

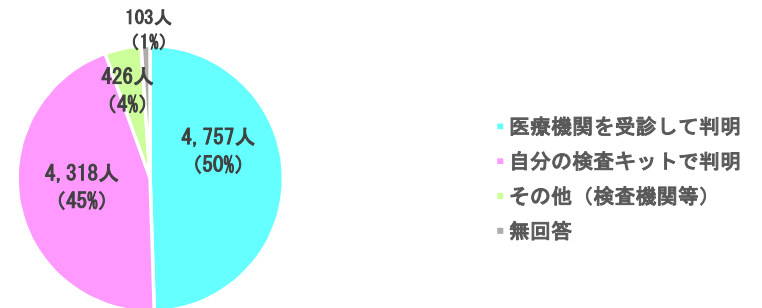
新型コロナ感染の有無 (n=18,260)



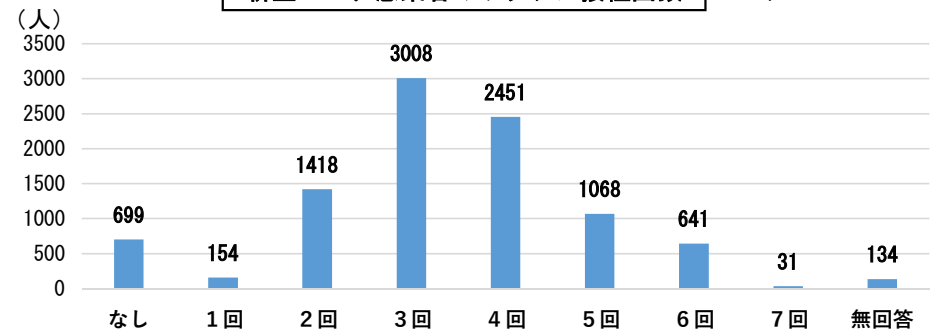
陽性判明時期 (n=9,604)

年(令和) 月	2	3	4	5	無回答
1~3	33人	170人	482人	665人	1人
4~6	8人	55人	228人	740人	2人
7~9	31人	190人	1,838人	3,370人	7人
10~12	34人	35人	1,367人	266人	4人
無回答	0人	0人	34人	32人	12人

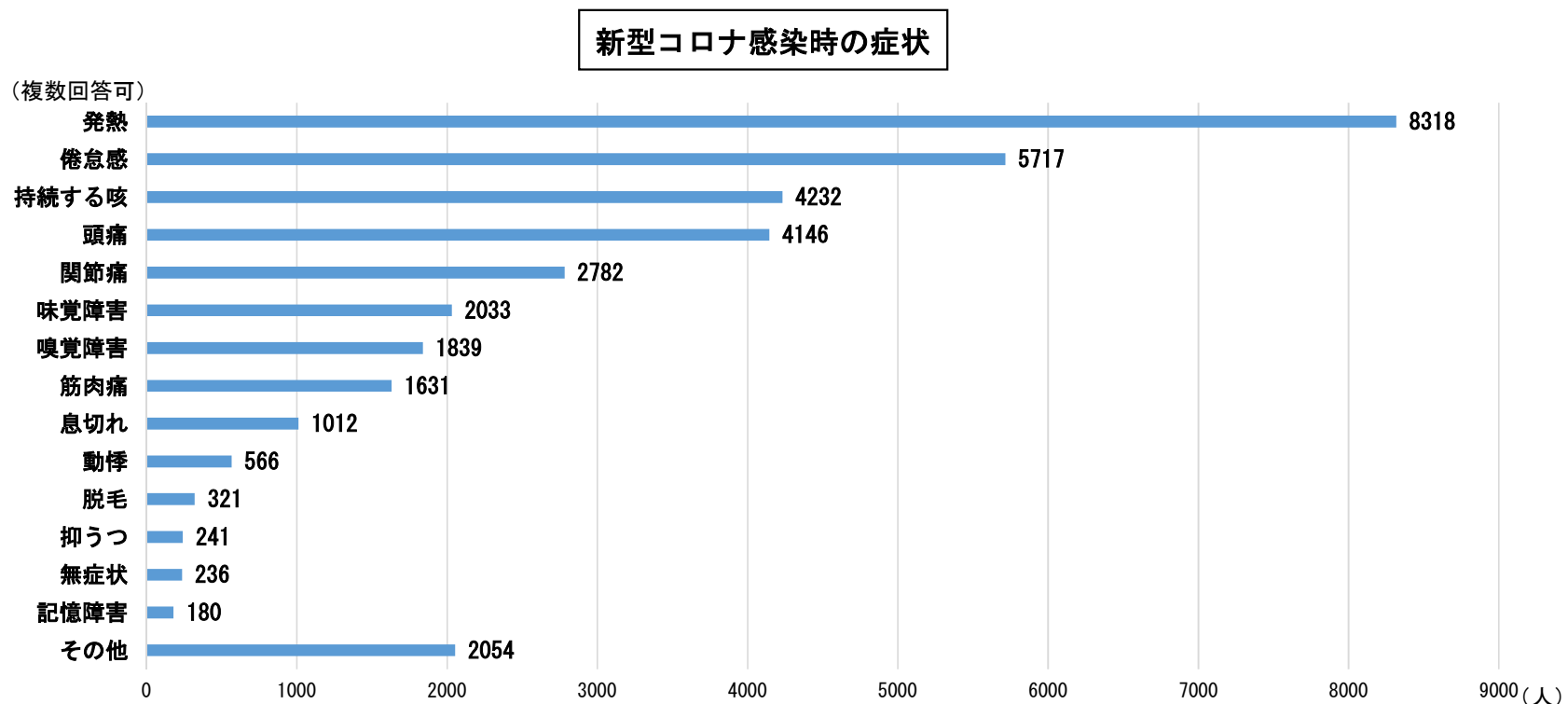
陽性判明方法 (n=9,604)



新型コロナ感染者のワクチン接種回数 (n=9,604)



3-2 調査結果_新型コロナ感染時の症状



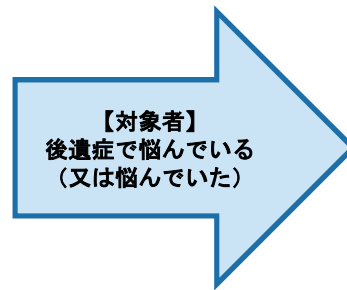
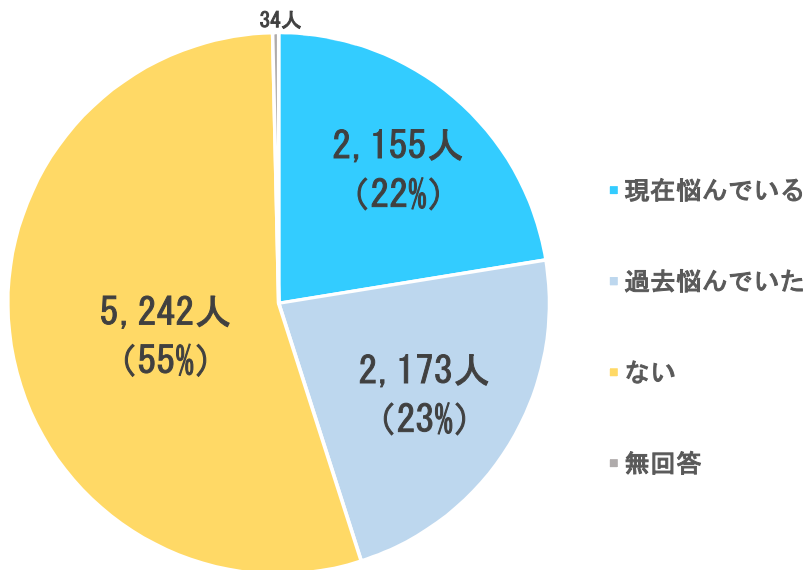
【その他の内容】

- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 胃腸障害 | <input type="checkbox"/> 鼻水・鼻詰まり | <input type="checkbox"/> 痰 | <input type="checkbox"/> 悪寒 |
| <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input type="checkbox"/> 睡眠障害 | <input type="checkbox"/> めまい | <input type="checkbox"/> 集中力低下 |
| <input type="checkbox"/> 咽頭痛 | <input type="checkbox"/> 食欲不振 | <input type="checkbox"/> 胸痛 | <input type="checkbox"/> 皮膚の痒み |
- 等

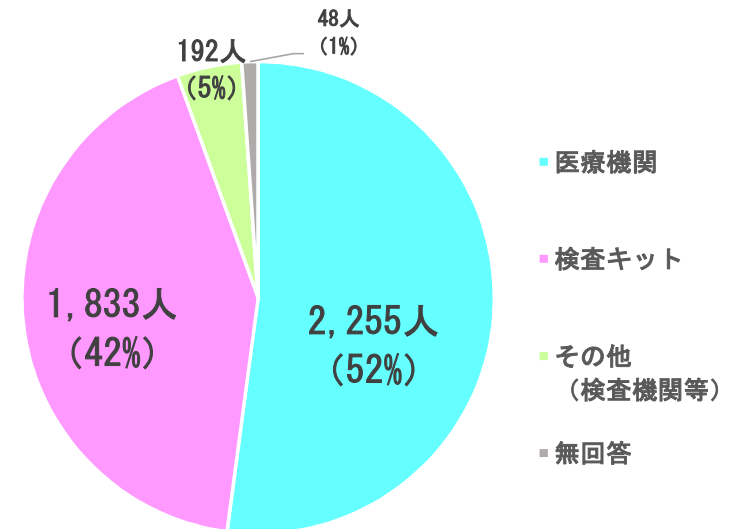
4-1 調査結果_新型コロナ後遺症の割合

対象者	新型コロナ感染者かつ後遺症で悩んでいる (又は悩んでいた)
調査目的	新型コロナ後遺症の実態を把握する

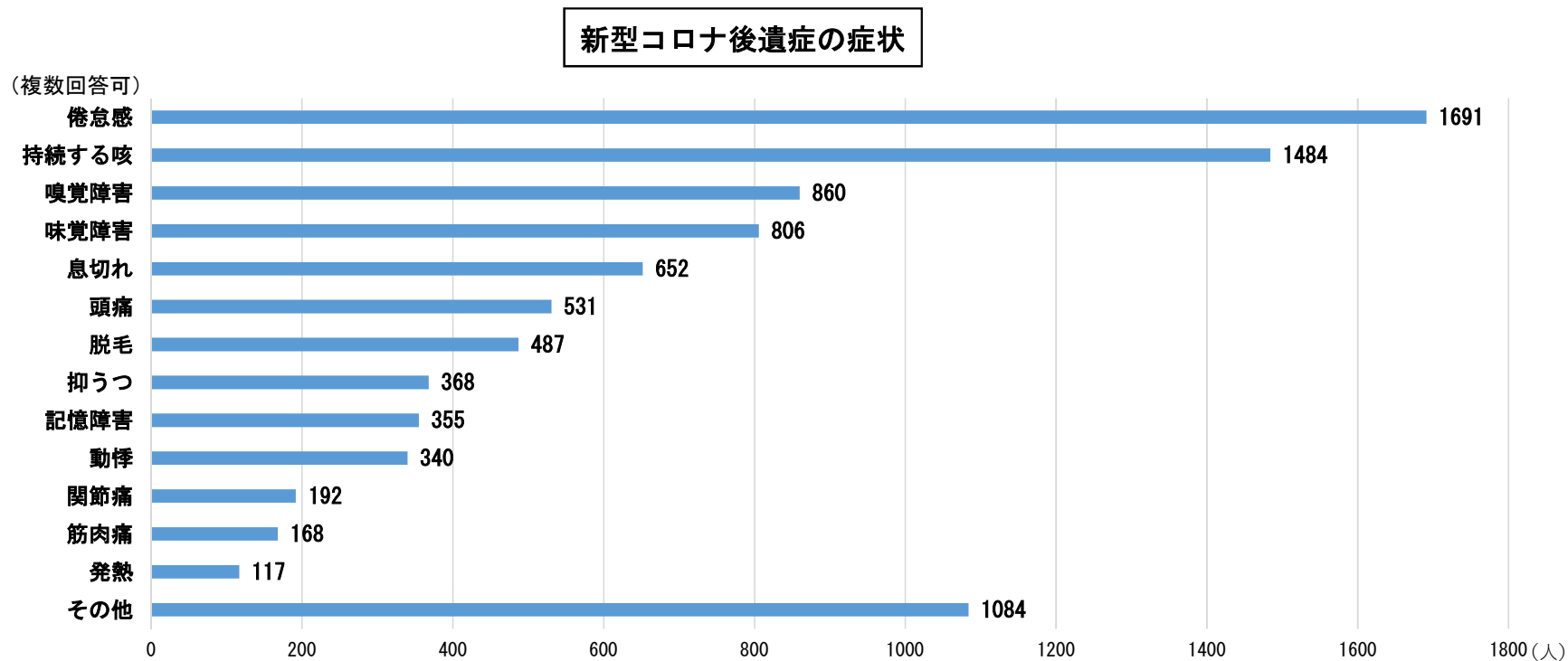
新型コロナ後遺症の割合 (n=9,604)



陽性判明方法 (n=4,328)



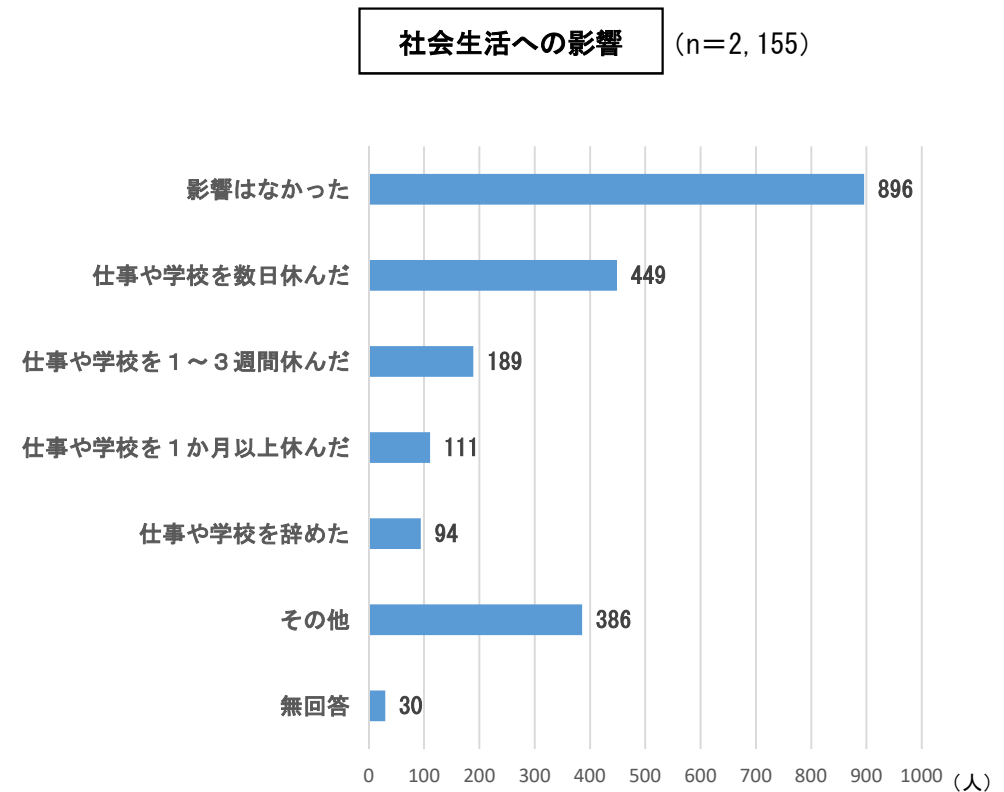
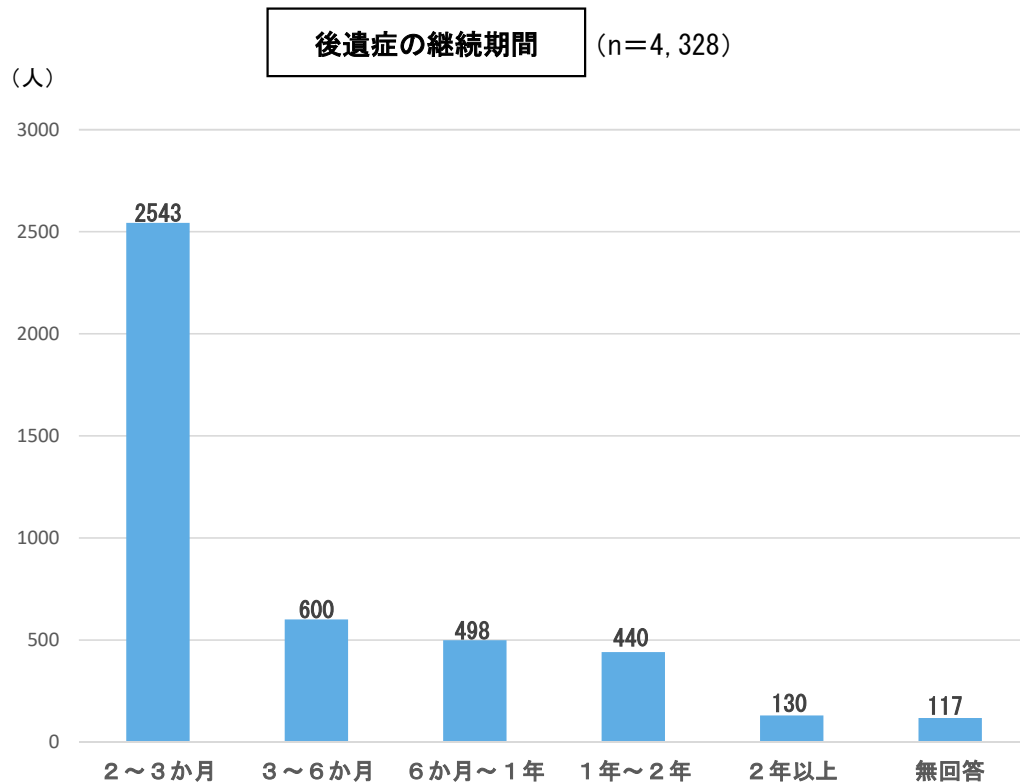
4-2 調査結果_新型コロナ後遺症の症状



【その他の内容】

- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 胃腸障害 | <input type="checkbox"/> 鼻水・鼻詰まり | <input type="checkbox"/> 痰 | <input type="checkbox"/> 集中力低下 |
| <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input type="checkbox"/> 睡眠障害 | <input type="checkbox"/> めまい | <input type="checkbox"/> 悪寒 |
| <input type="checkbox"/> 咽頭痛 | <input type="checkbox"/> 食欲不振 | <input type="checkbox"/> 胸痛 | <input type="checkbox"/> 皮膚の痒み |
- 等

4-3 調査結果_新型コロナ後遺症の影響

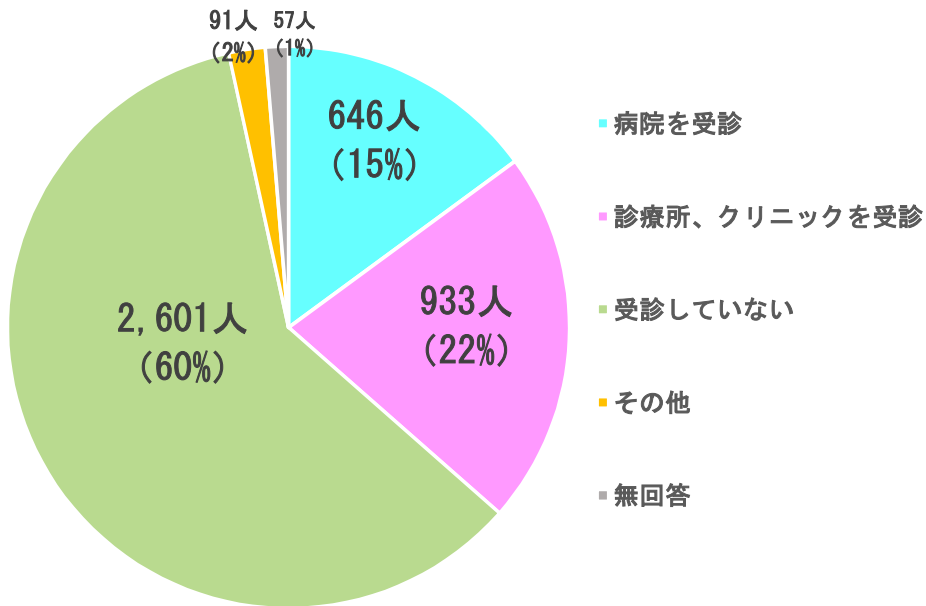


【その他の内容】

- 家事が出来なくなった
- 我慢して仕事をしている
- 休むほどではないが、咳が出るため気を遣う
- 出社が出来なかったため、テレワークをした 等

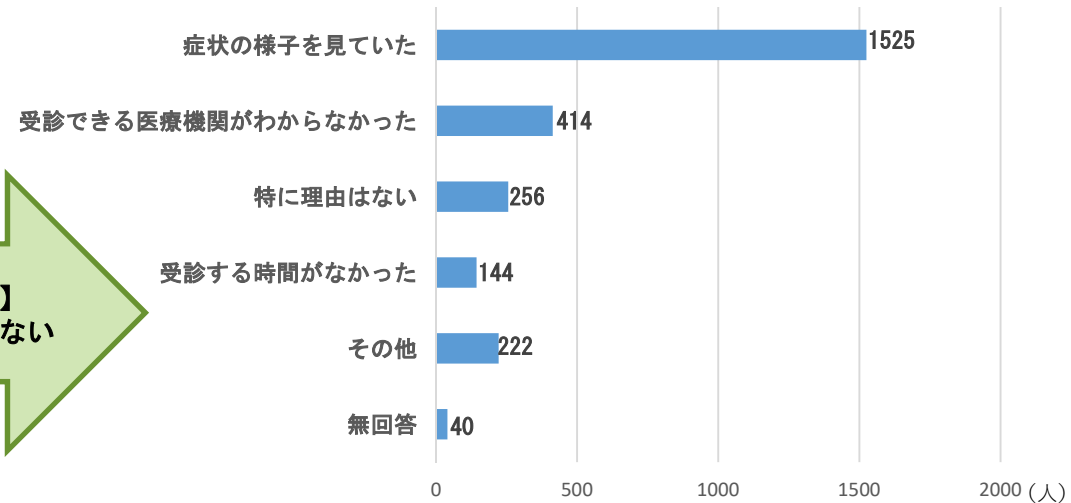
4-4 調査結果_新型コロナ後遺症の治療・相談

医療機関受診状況 (n=4,328)



【対象者】
受診していない

受診していない理由 (n=2,601)



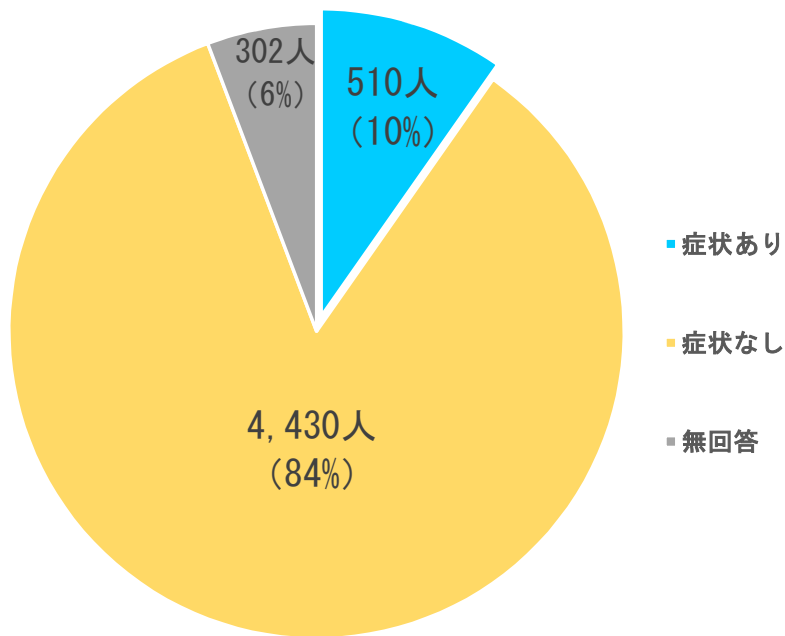
【その他の内容】

- 受診するほどでもなかった
- 医療費がかかる
- 受診してもあまり効果がないと思った
- 後遺症かどうかわからなかった
- 診療してもらえなかった 等

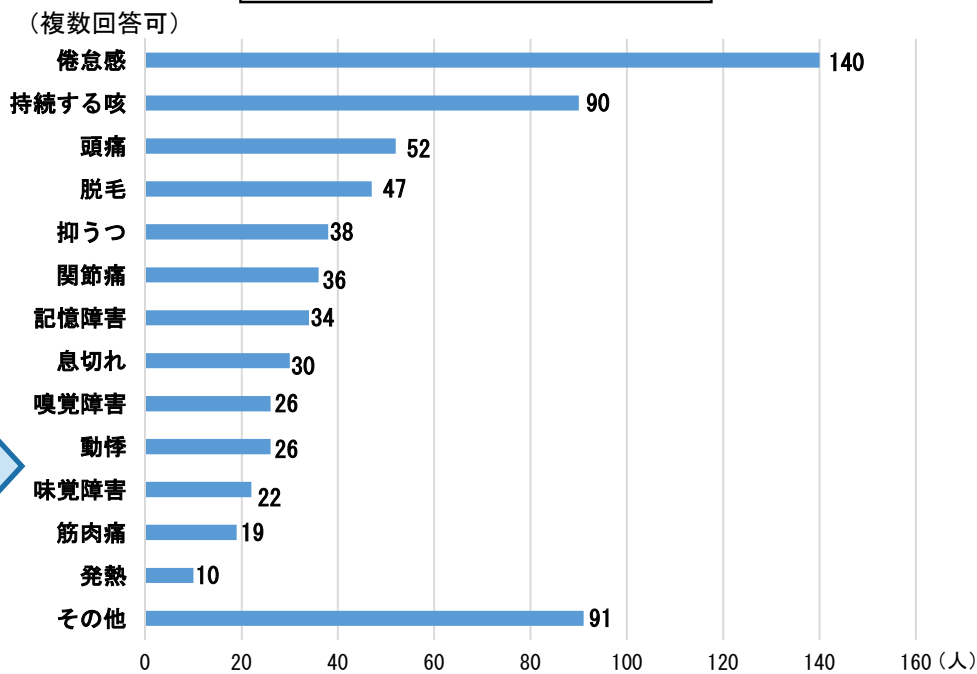
5-1 調査結果_新型コロナ後遺症で悩んでいないと回答した方の傾向①

対象者	新型コロナ感染者かつ後遺症で悩んでいないと回答
調査目的	新型コロナ後遺症で悩んでいない人も、後遺症と似たような症状を有していないか把握する

2か月以上継続している症状の有無 (n=5,242)

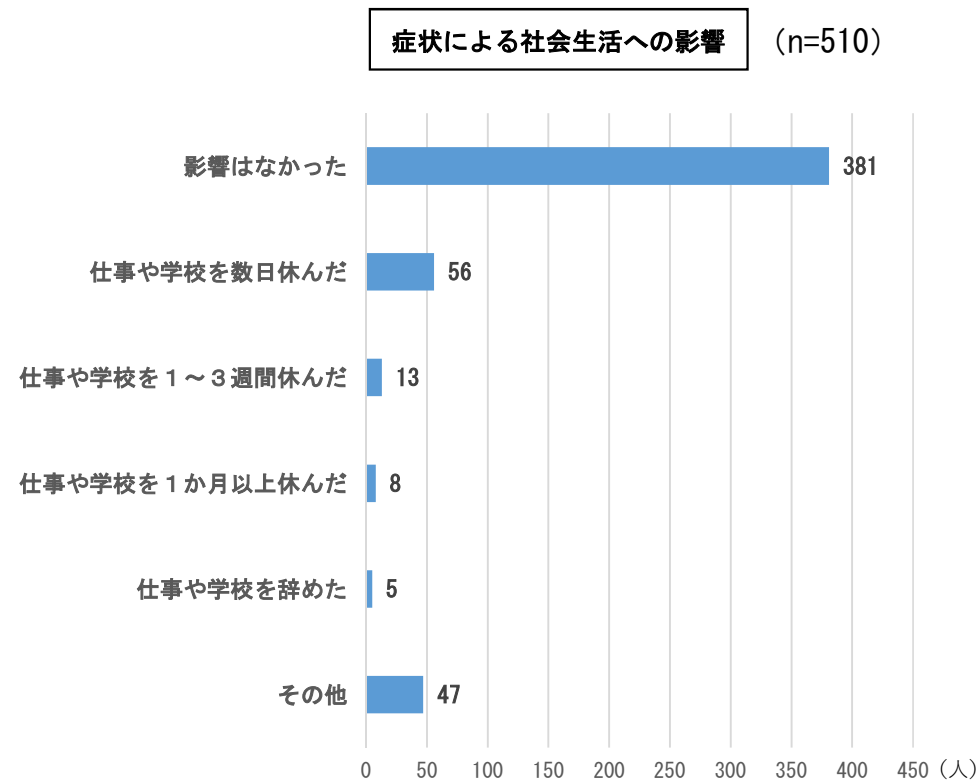
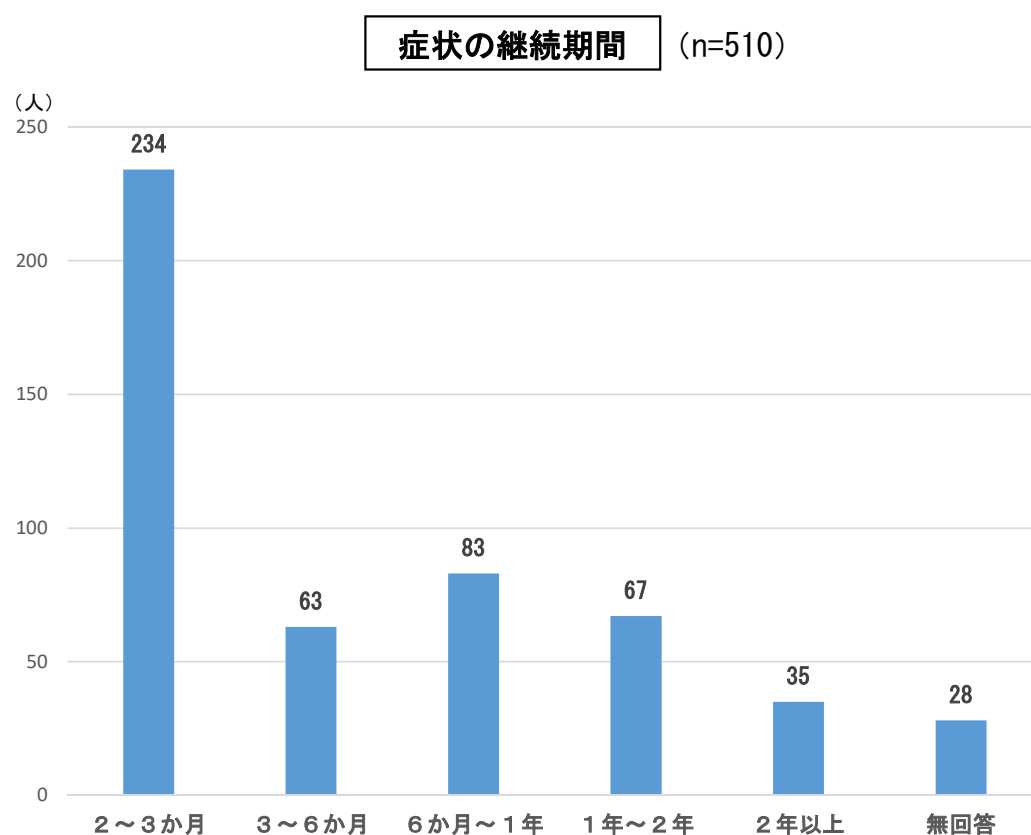


2か月以上継続している症状



- 【その他の内容】
- 胃腸障害
 - 聴覚障害
 - 咽頭痛
 - 集中力低下
 - 痰
 - 時々咳が出る
- 等

5-2 調査結果_新型コロナ後遺症で悩んでいないと回答した方の傾向②

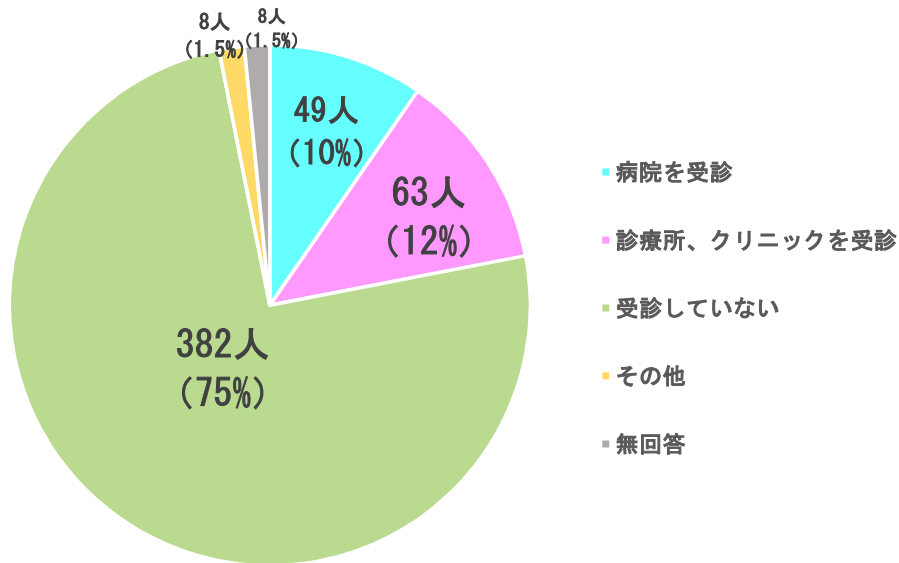


【その他の内容】

- 我慢して仕事をしている
- 仕事でミスや抜けが目立つようになった
- 出社できなかったため、テレワークをした 等

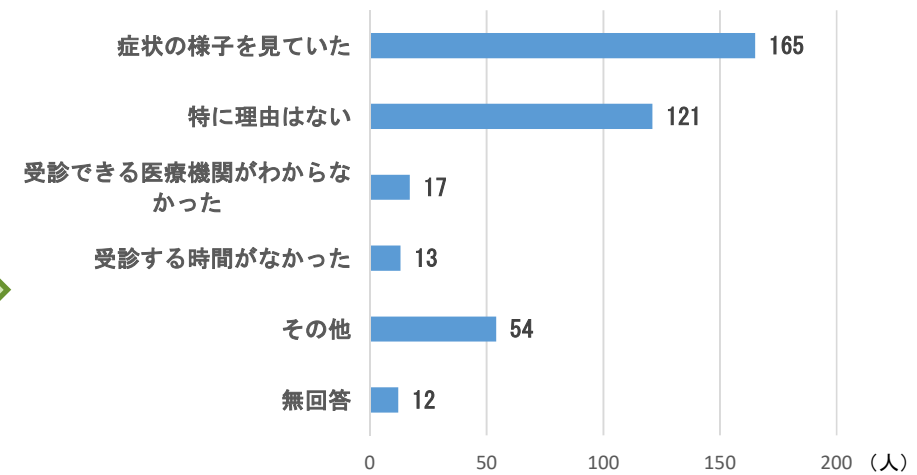
5-3 調査結果_新型コロナ後遺症で悩んでいないと回答した方の傾向③

医療機関受診状況 (n=510)



【対象者】
受診していない

受診していない理由 (n=382)



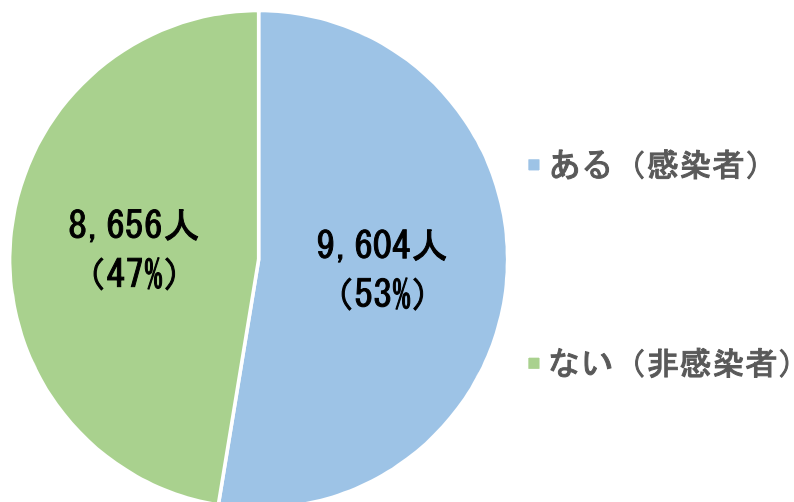
【その他の内容】

- 受診するほどでもなかった
 - 受診してもあまり効果がないと思った
 - 後遺症かどうかわからなかった
 - 市販薬で対応できた
- 等

6-1 調査結果_新型コロナ非感染者の傾向①

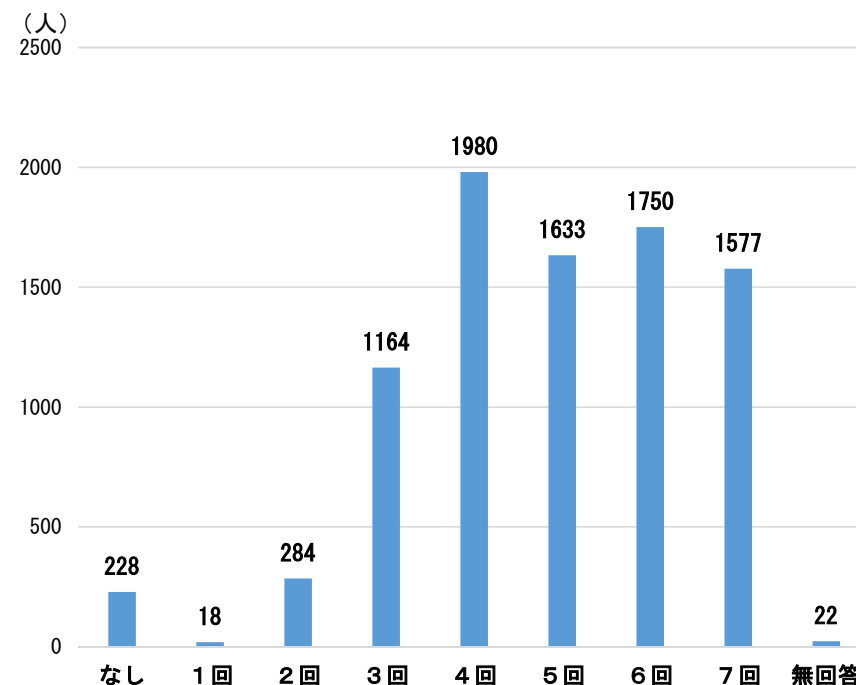
対象者	新型コロナ非感染者
調査目的	新型コロナ非感染者も、後遺症と似たような症状を有していないか把握する

新型コロナ感染の有無 (n=18,260)



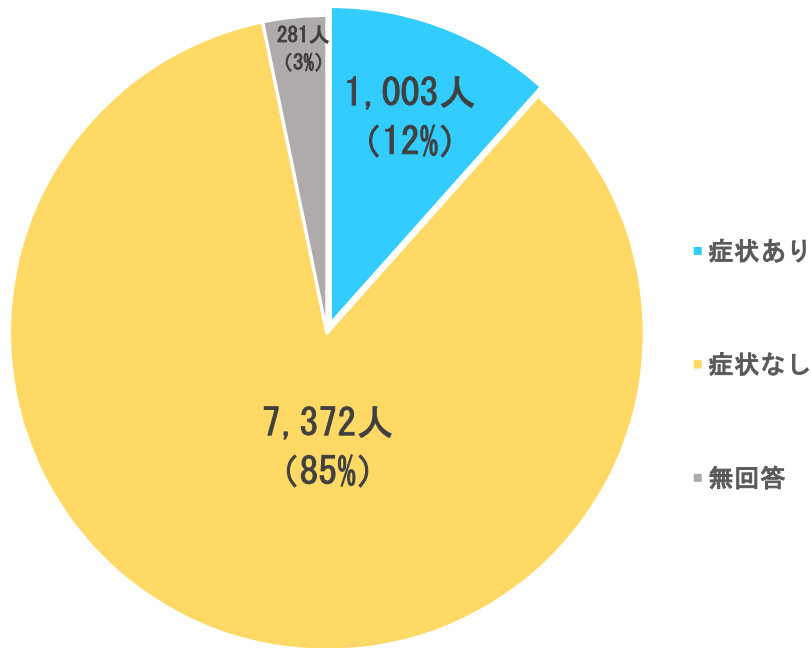
【対象者】
新型コロナ非感染者

新型コロナ非感染者のワクチン接種回数 (n=8,656)

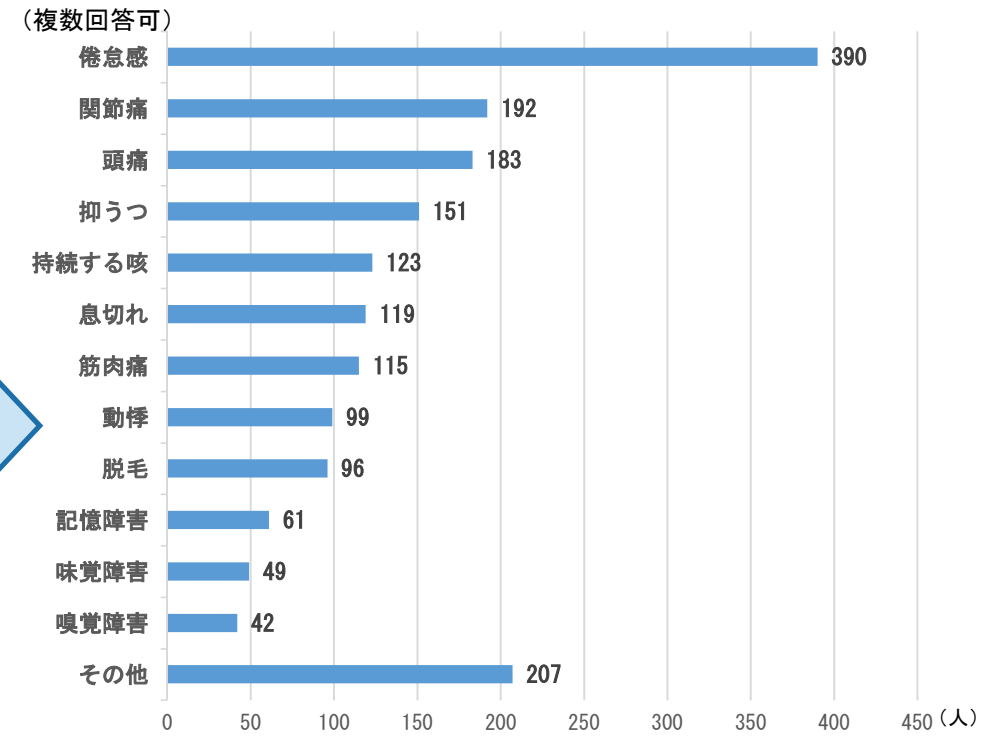


6-2 調査結果_新型コロナ非感染者の傾向②

2か月以上継続している症状の有無 (n=8,656)



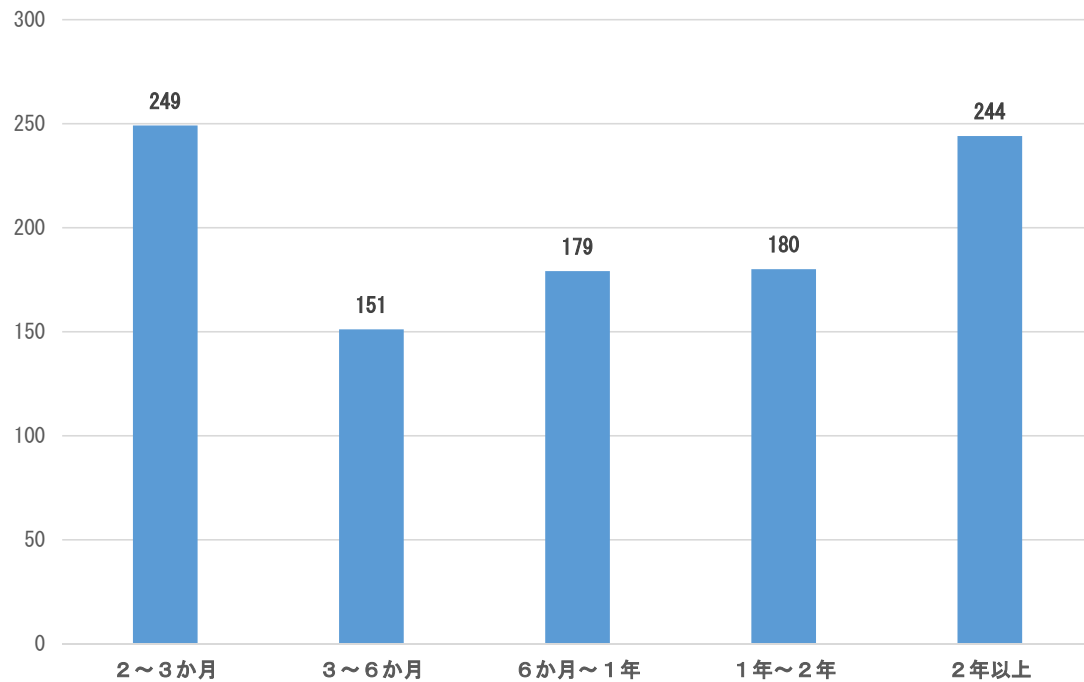
2か月以上継続している症状



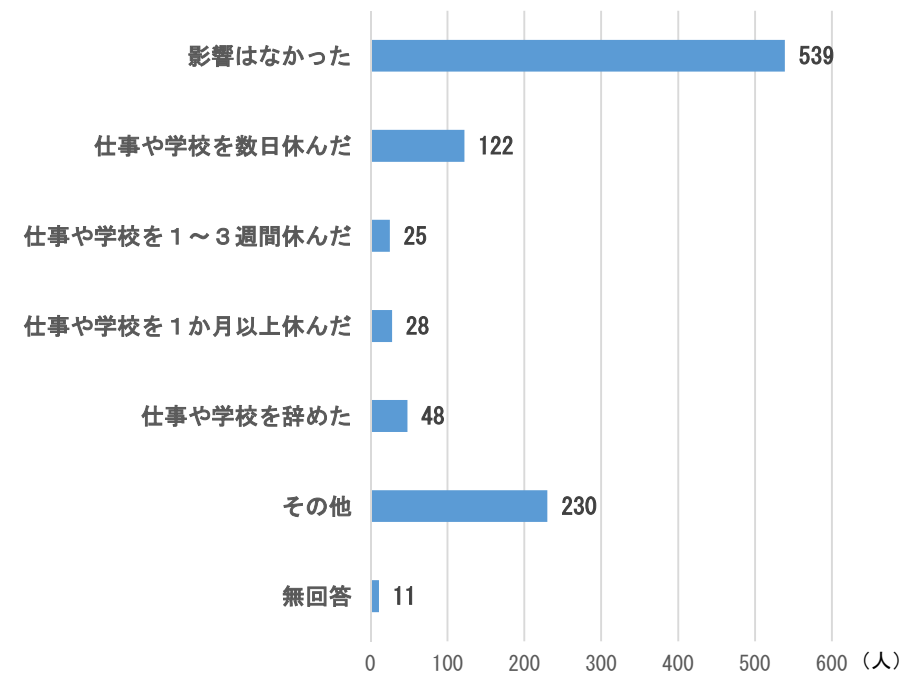
- 【その他の内容】
- 胃腸障害
 - 聴覚障害
 - 咽頭痛
 - 胸痛
 - 睡眠障害
 - 痰
- 等

6-3 調査結果_新型コロナ非感染者の傾向③

症状の継続期間 (n=1,003)



症状による社会生活への影響 (n=1,003)



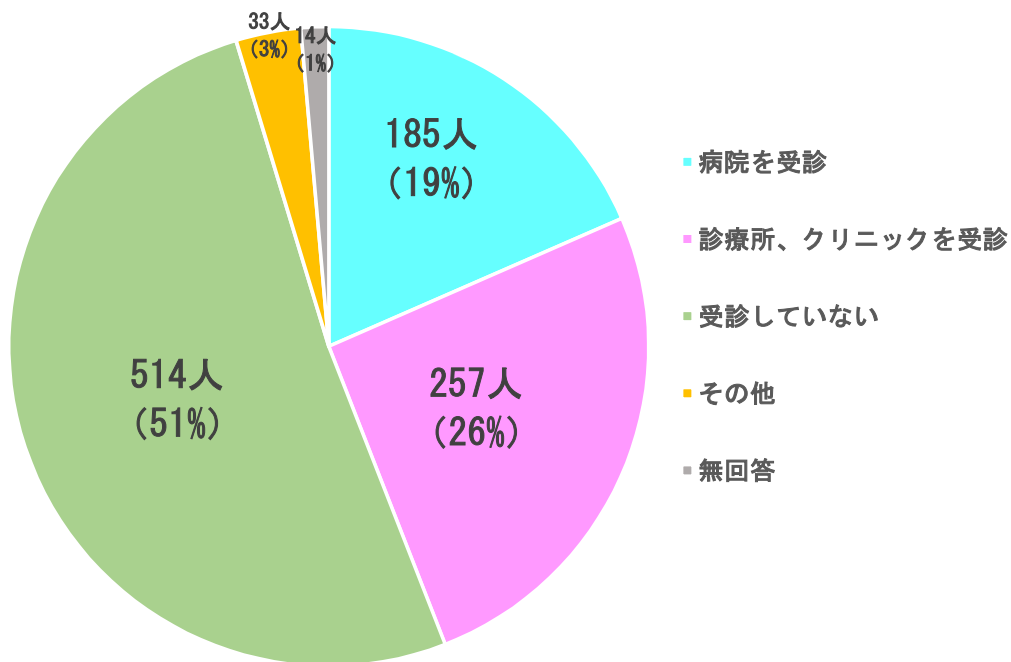
【その他の内容】

- 家事が出来なくなった
- 外出をしなくなった
- 我慢して仕事をしている

等

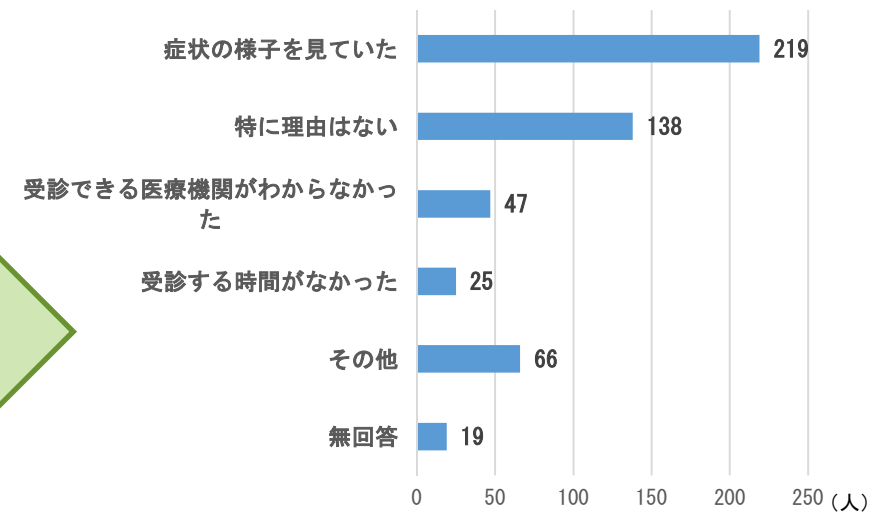
6-4 調査結果_新型コロナ非感染者の傾向④

医療機関受診状況 (n=1,003)



【対象者】
受診していない

受診していない理由 (n=495)



【その他の内容】

- 新型コロナに感染していないから
 - 医療費がかかる
 - 市販薬で対応できる
- 等

7 主な結果

1) 後遺症で悩んでいる方の陽性判明方法

後遺症で悩んでいる方又は悩んでいた方の陽性判明方法は、医療機関の受診による場合と医療機関の受診以外で判明した場合に大きな差はなかった。

2) 後遺症の症状の傾向

症状は、倦怠感、持続する咳、嗅覚・味覚障害、息切れの順に多かった。

3) 後遺症の継続期間

症状の継続期間は「2～3か月」が最も多く、回答の約60%を占めていた。

4) 後遺症の治療・相談の状況

後遺症で悩んでいる方又は悩んでいた方のうち、医療機関を受診していなかった方は約60%を占め、受診していない理由の約60%は「症状の様子を見ていた」という回答だったが、「受診できる医療機関がわからなかった」という回答も約16%あった。

5) 新型コロナ感染者のうち後遺症で悩んでいない方の状況

「症状がない」という回答が大多数だったが、約10%は2か月以上継続している症状があった。症状の継続期間は「2～3か月」が最も多く、回答の約45%を占めていた。症状は倦怠感、持続する咳、頭痛、脱毛、抑うつに多かった。

6) 新型コロナ非感染者の状況

「症状がない」という回答が大多数だったが、約12%は2か月以上継続している症状があった。症状の継続期間は「2～3か月」が最も多かったが、他の回答と比べて顕著に多い結果ではなかった。症状としては倦怠感、関節痛、頭痛、抑うつ、持続する咳の順に多かった。

新型コロナウイルス感染症の 罹患後症状に係る医療機関実態調査結果

神奈川県医療危機対策本部室

2023. 12. 25

目次

1 調査概要-----	2	4-1 調査結果_罹患後症状非登録医療機関の状況-----	8
2 調査結果_回答における罹患後症状に対応している一次受け医療機関の登録---	3	4-2 調査結果_非登録医療機関の罹患後症状の対応状況-----	9
3-1 調査結果_登録医療機関の状況-----	4	4-3 調査結果_非登録医療機関の診療人数、受診契機、症状-----	10
3-2 調査結果_登録医療機関の診療人数、受診契機-----	5	4-4 調査結果_非登録医療機関の他医療機関への紹介-----	11
3-3 調査結果_登録医療機関の他医療機関への紹介-----	6	4-5 調査結果_非登録医療機関の罹患後症状を診療するうえで必要な支援---	12
3-4 調査結果_登録医療機関の罹患後症状を診療するうえで必要な支援-----	7	5 主な結果-----	13

1 調査概要

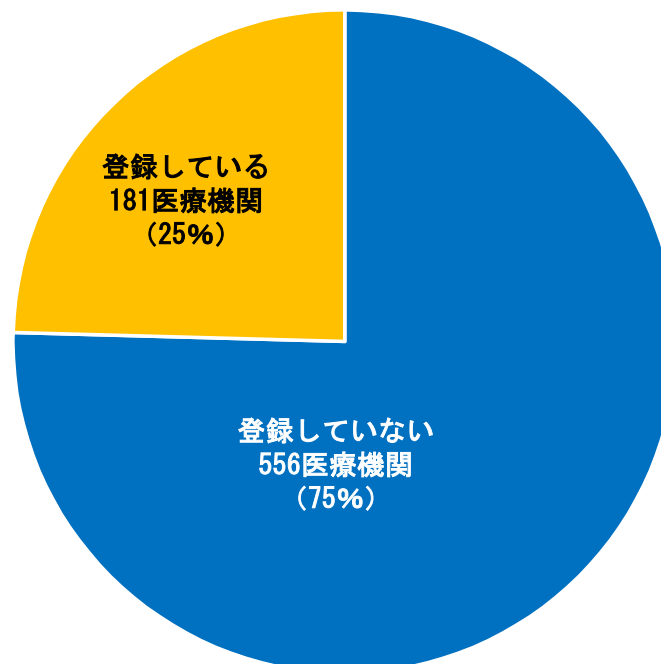
目的	令和5年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状への外来対応の実態を把握する
対象	県内の罹患後症状に対応している一次受け医療機関及び外来対応医療機関 (約2,500の医療機関、うち一次受け医療機関は542機関(令和5年10月25日時点))
調査方法	Webフォーム
実施時期	令和5年10月25日(水)～令和5年11月1日(水)
質問内容	罹患後症状の対応状況、罹患後症状対応医療機関に登録していない理由、診療した患者の人数、訴えの多い症状、受診契機、他医療機関の紹介状況、罹患後症状を診療するうえで必要な支援など
留意事項	<p>○調査結果はWebフォームで回答があったものを集計したものです。</p> <p>○「罹患後症状に対応している一次受け医療機関」とは、神奈川県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の罹患後症状(いわゆる後遺症)について」に掲載している検索システムに登録のある医療機関です。罹患後症状に対応している県内の医療機関はホームページの調査フォームから随時申請が可能です。</p> <p>本調査結果においては、一次受け医療機関に登録のある医療機関を「登録医療機関」、登録のない医療機関を「非登録医療機関」と表現します。</p>

2 調査結果_回答における罹患後症状に対応している一次受け医療機関の登録状況

調査回答数

737 医療機関
(調査回答率：約30%)

回答における罹患後症状に対応している一次受け医療機関登録状況

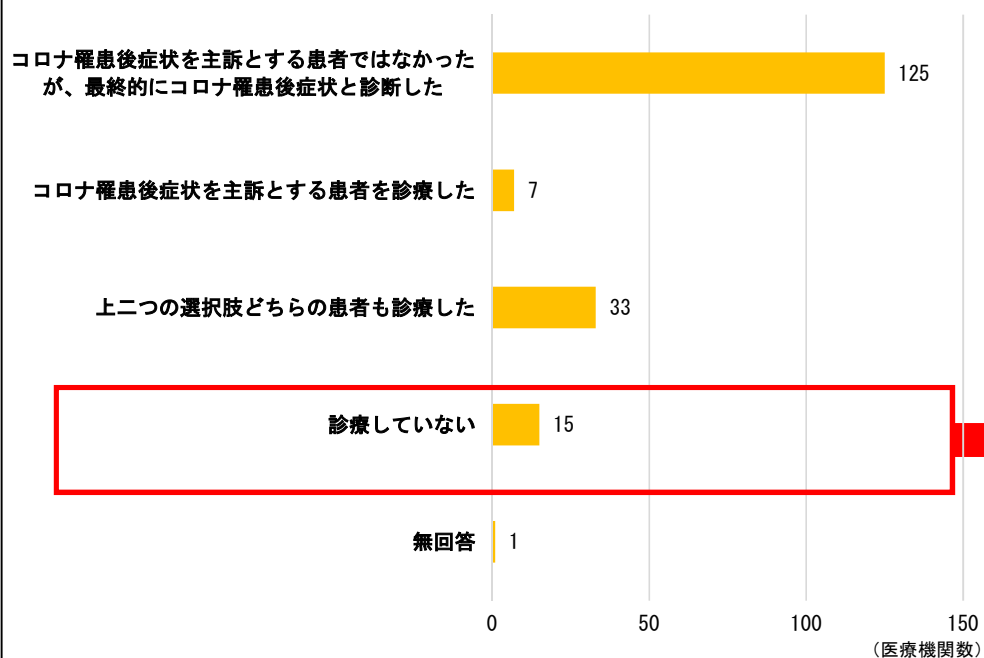


3-1 調査結果_登録医療機関の状況

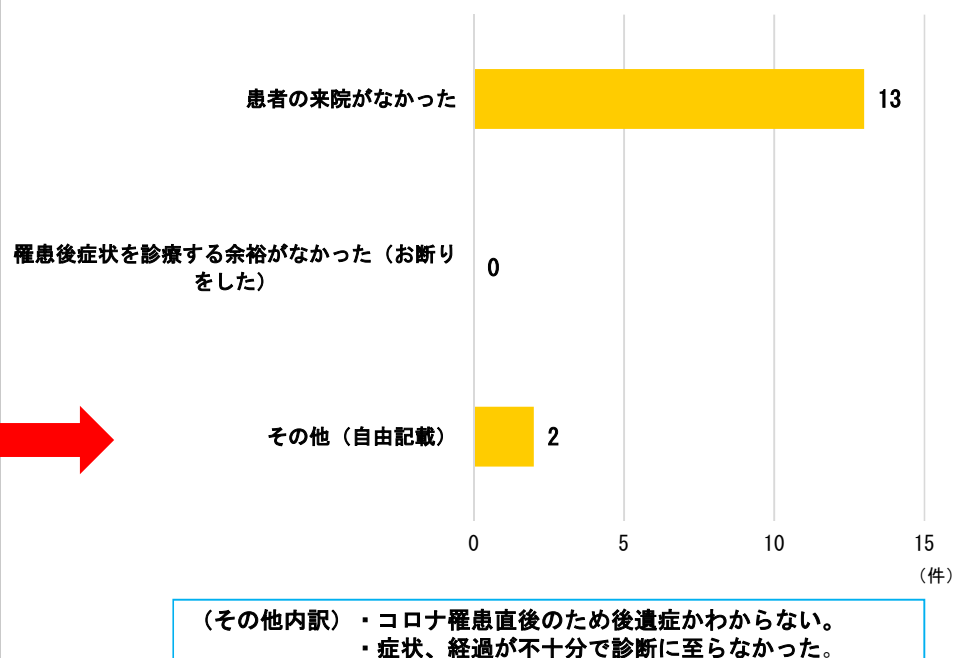
登録医療機関
回答数

181 医療機関
(登録医療機関回答率: 33.4%)

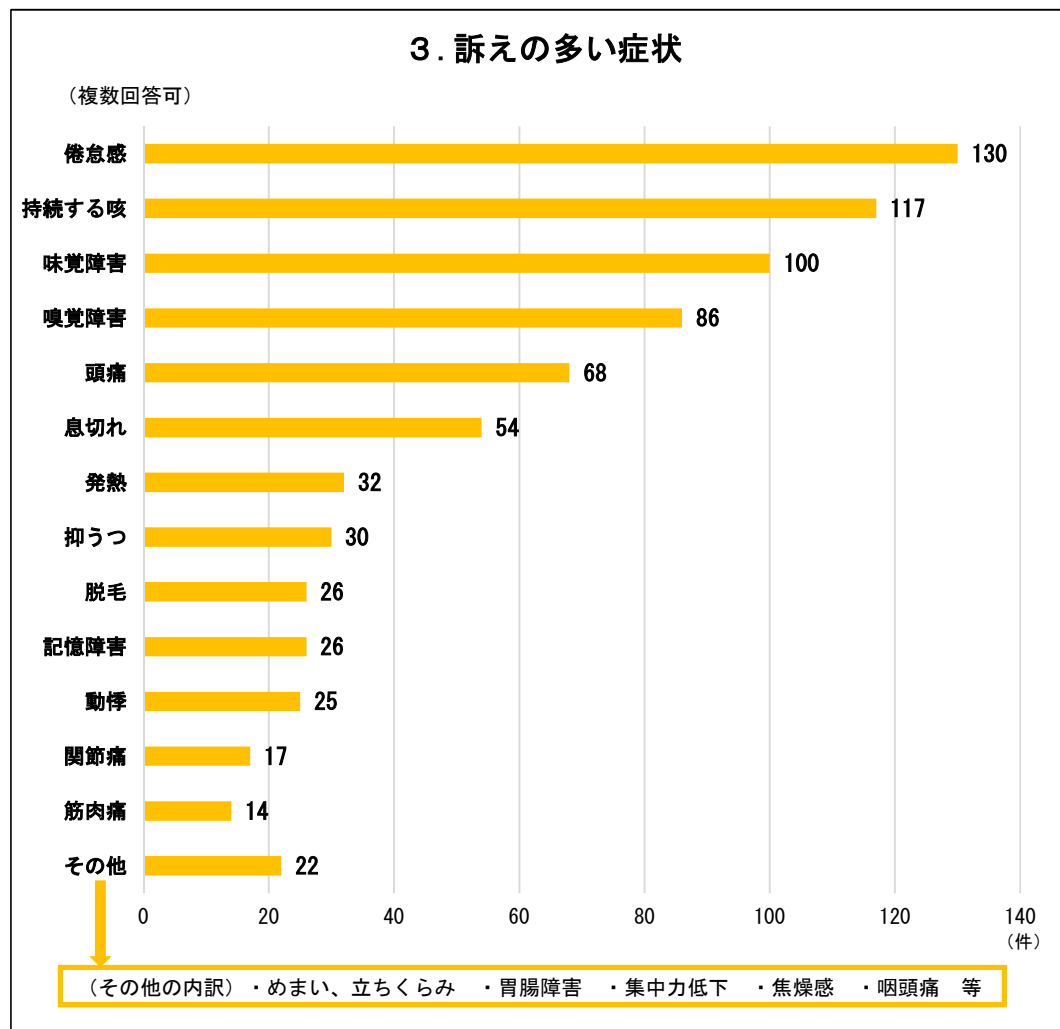
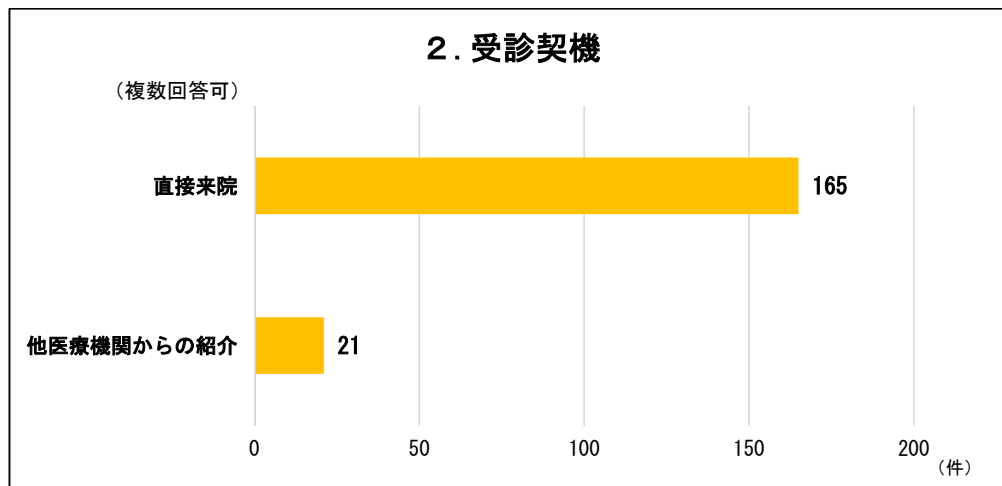
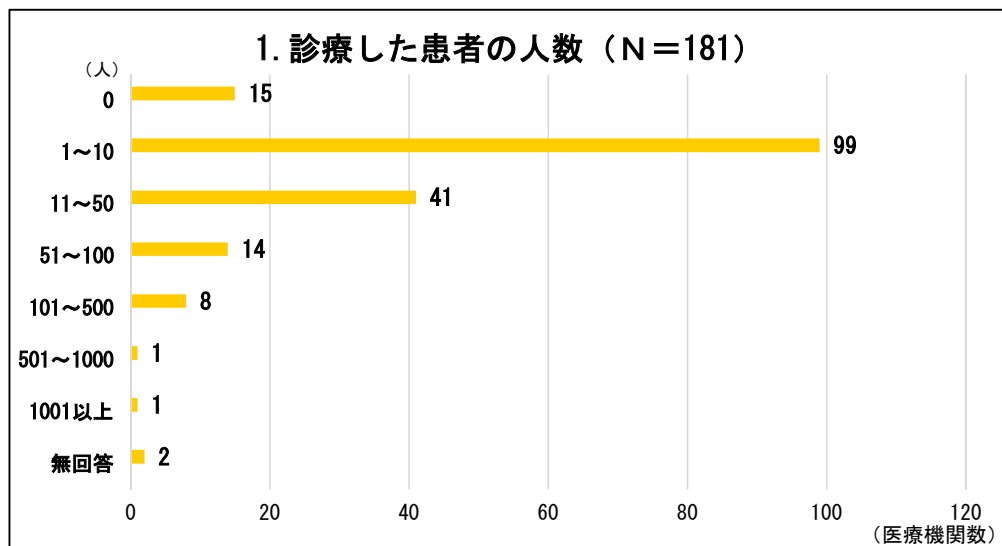
コロナ罹患後症状患者の診療状況 (N=181)



2. 診療していない理由 (N=15)

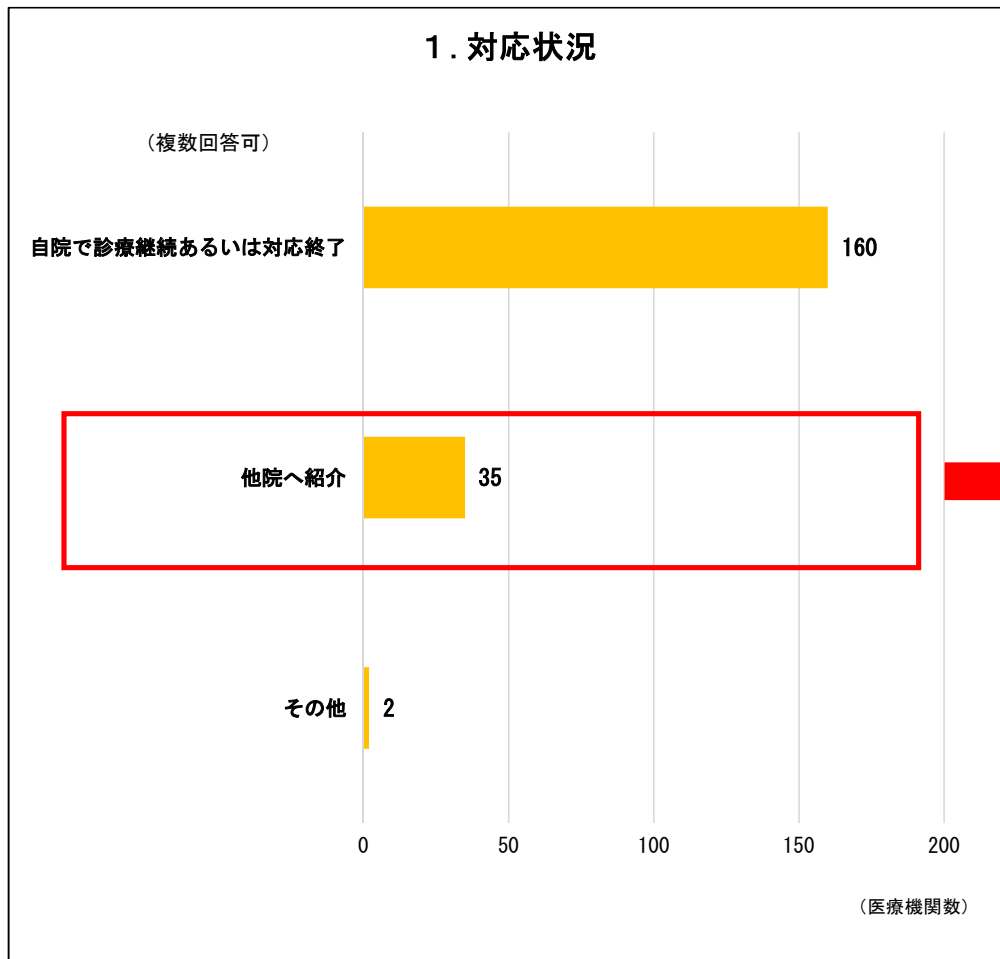


3-2 調査結果_登録医療機関の診療人数、受診契機、症状

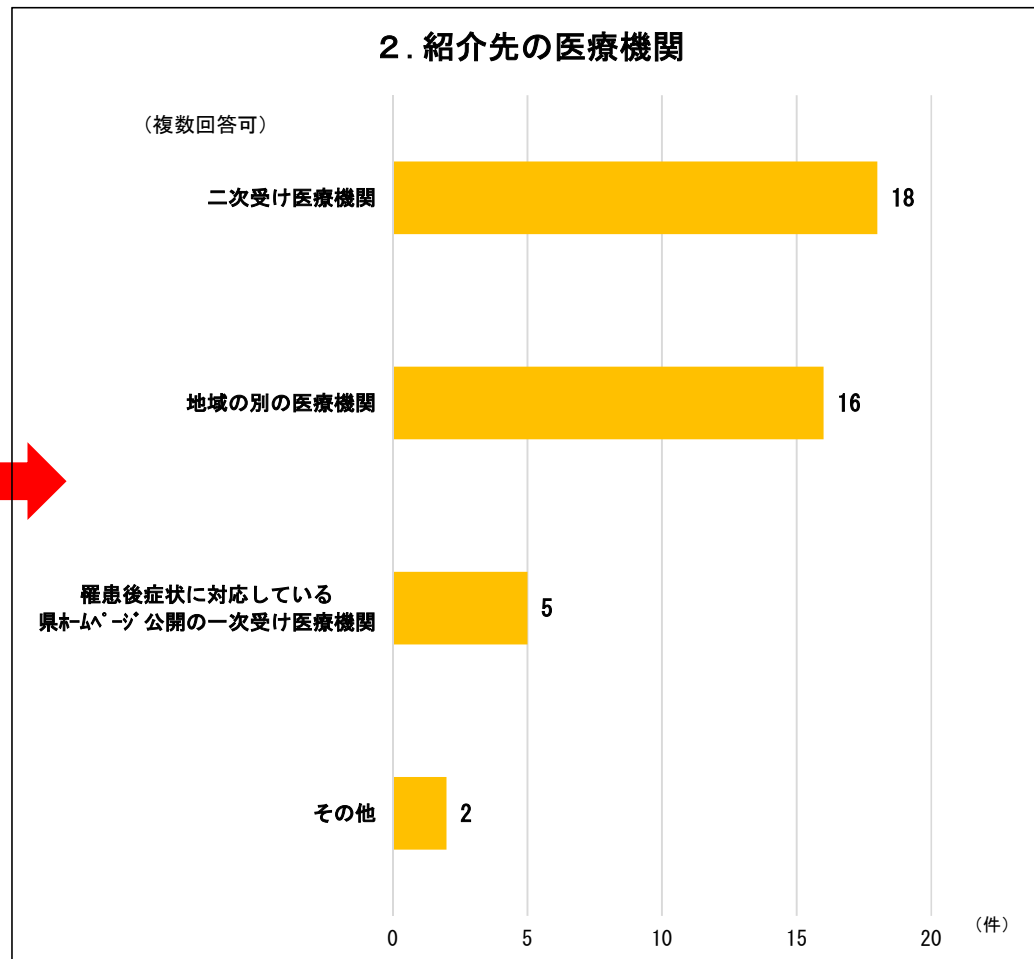


3-3 調査結果_登録医療機関の他医療機関への紹介状況

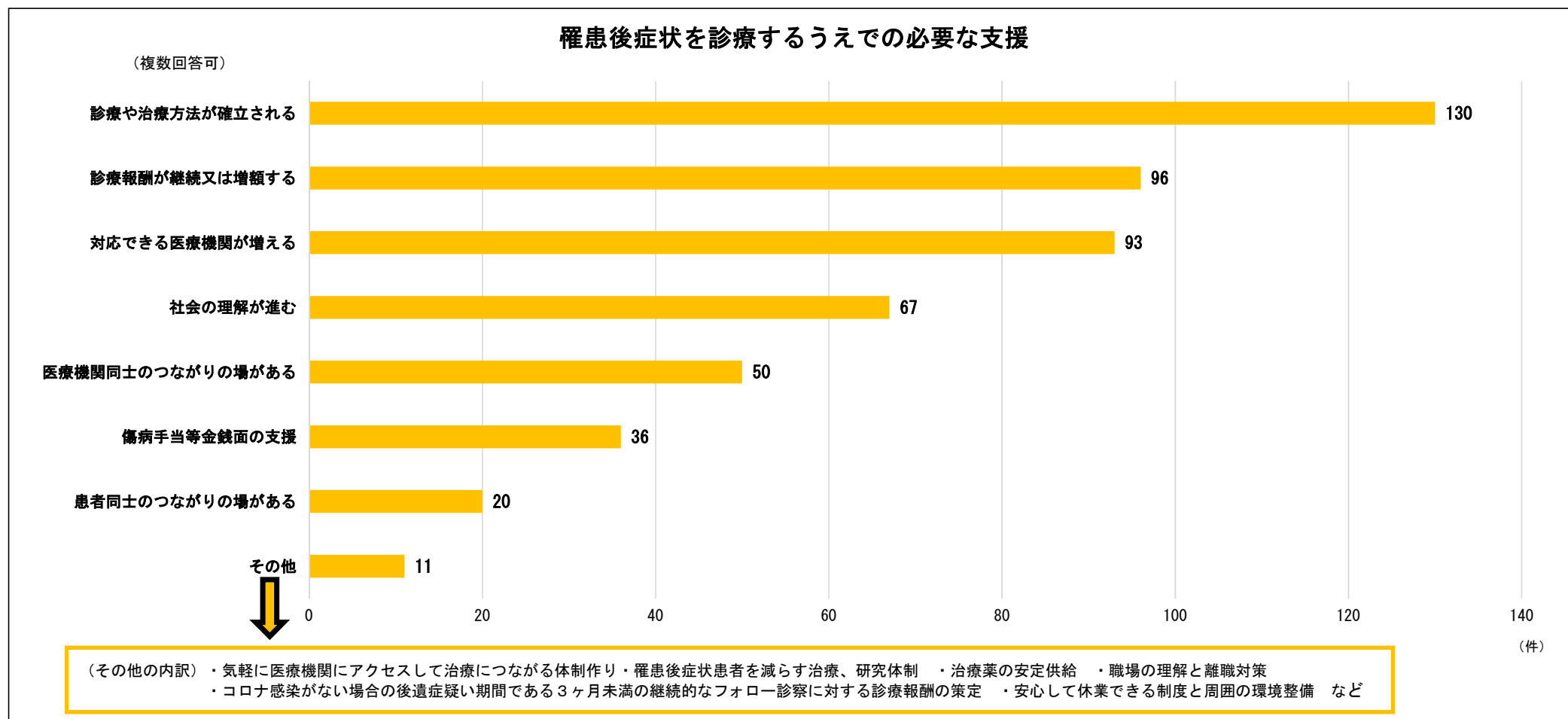
1. 対応状況



2. 紹介先の医療機関



3-4 調査結果_登録医療機関の罹患後症状を診療するうえで必要な支援

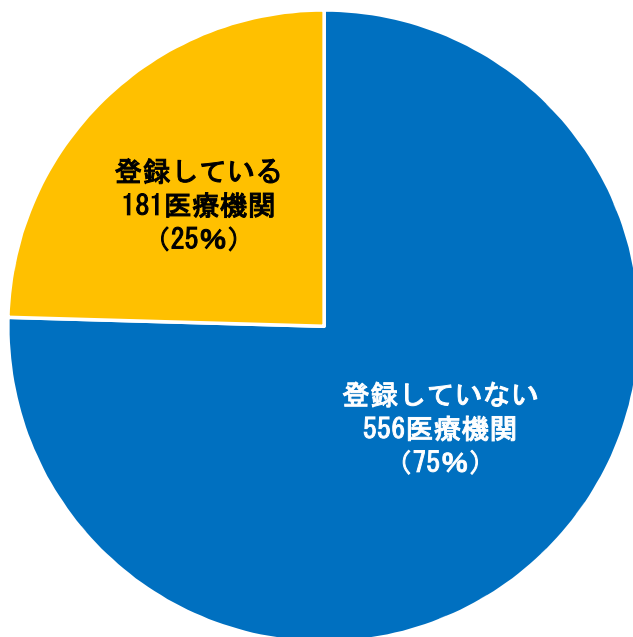


4-1 調査結果_非登録医療機関の状況

非登録医療機関
回答数

556医療機関

回答における罹患後症状に対応している医療機関登録状況



登録していない理由 (N=556)

コロナ罹患後症状に対応しているが、ホームページの存在を知らなかった

101

ホームページの存在は知っており、コロナ罹患後症状に対応しているが、登録は不要だと思った

62

コロナ罹患後症状に対応していないし、ホームページの存在も知らなかった

177

ホームページの存在は知っていたが、コロナ罹患後症状に対応していない

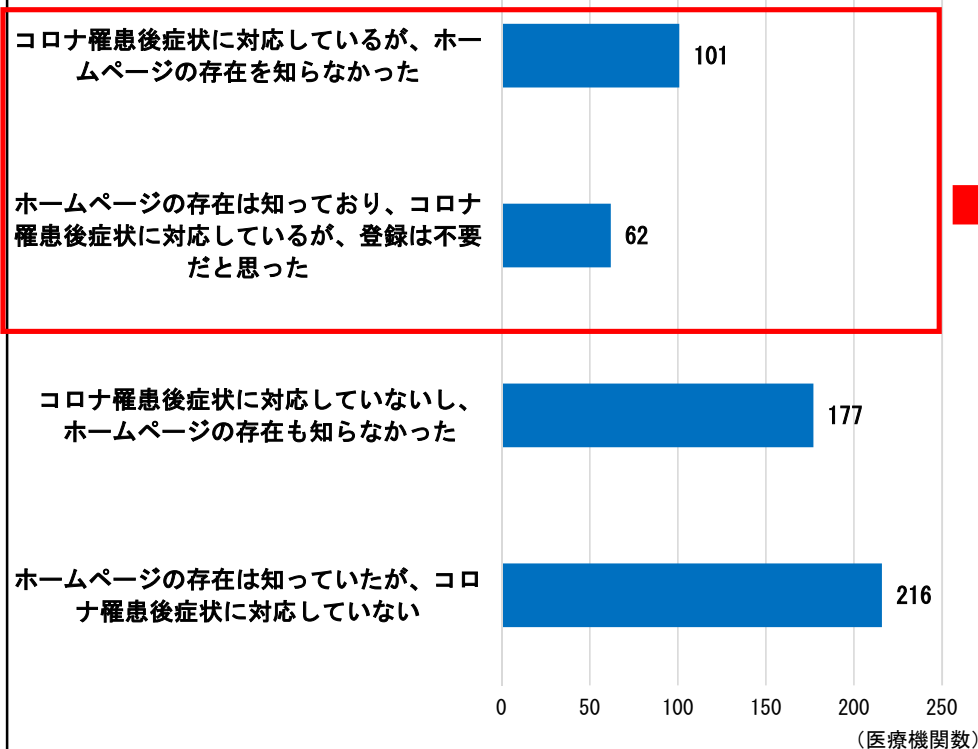
216

0 50 100 150 200 250

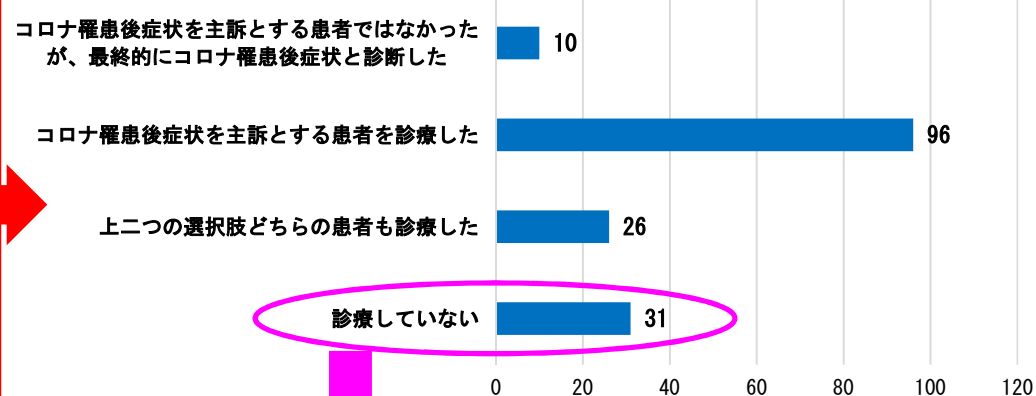
(医療機関数)

4-2 調査結果_非登録医療機関の罹患後症状の対応状況

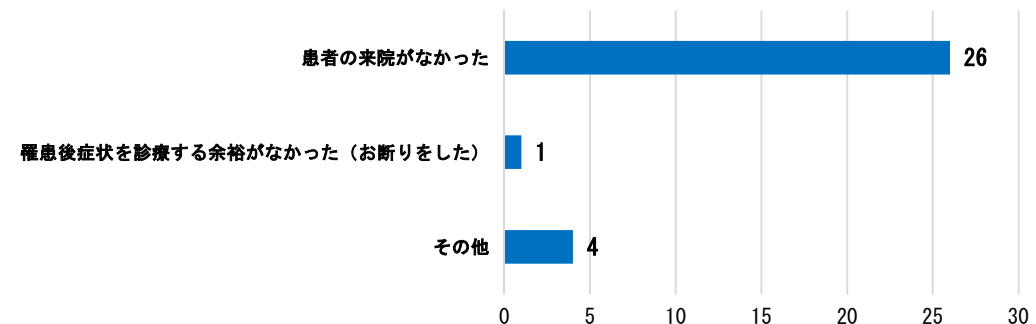
1. 登録していない理由 (N=556)



2. コロナ罹患後症状患者の診療状況 (N=163)

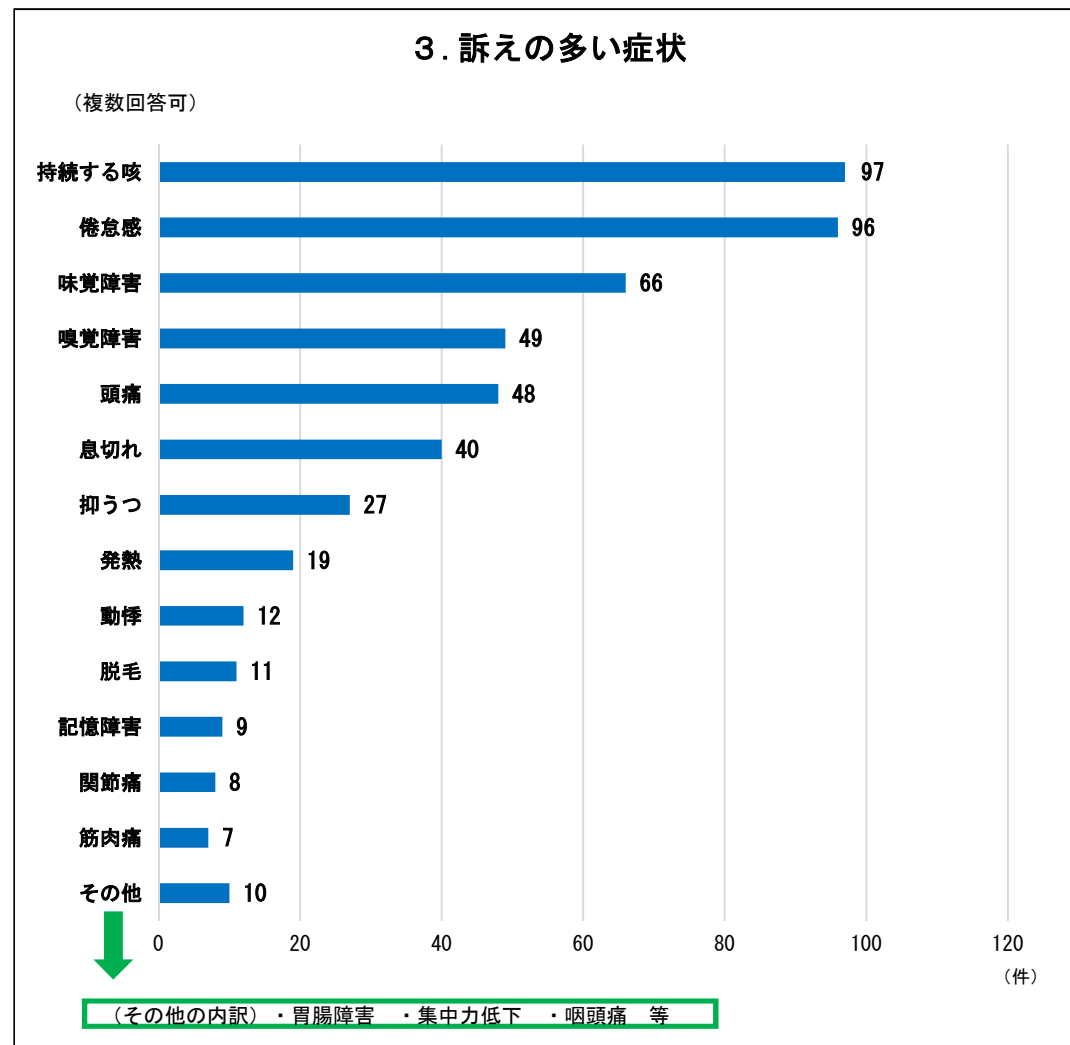
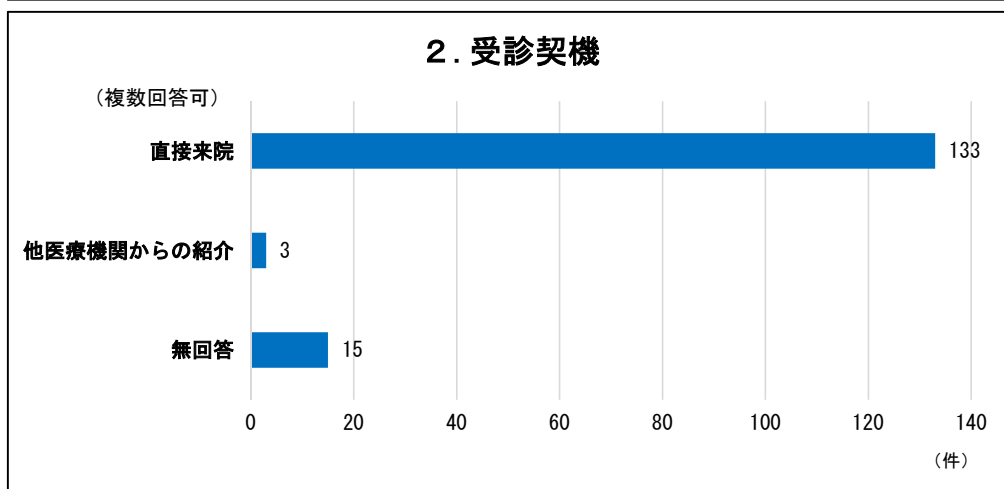
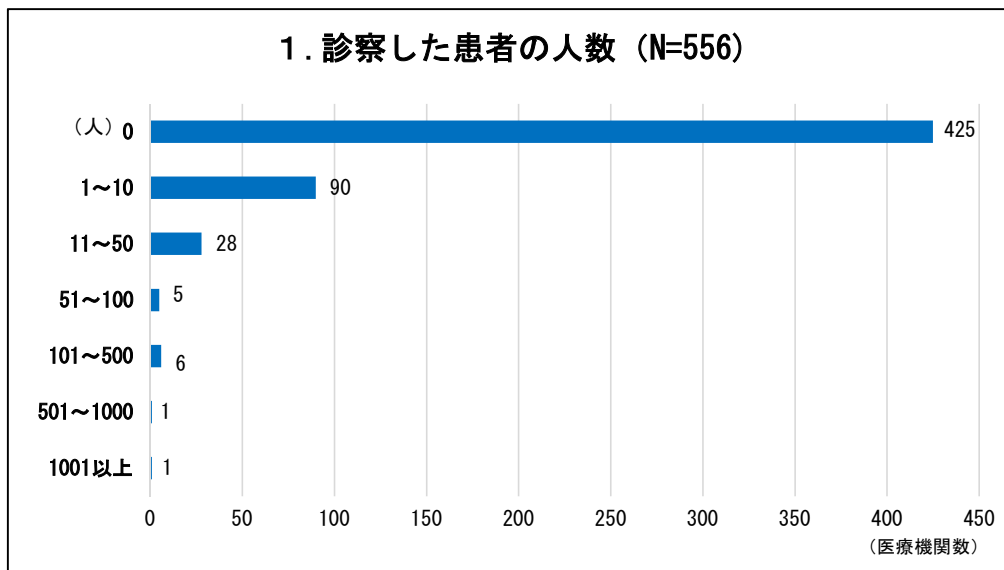


3. 診療していない理由 (N=31)

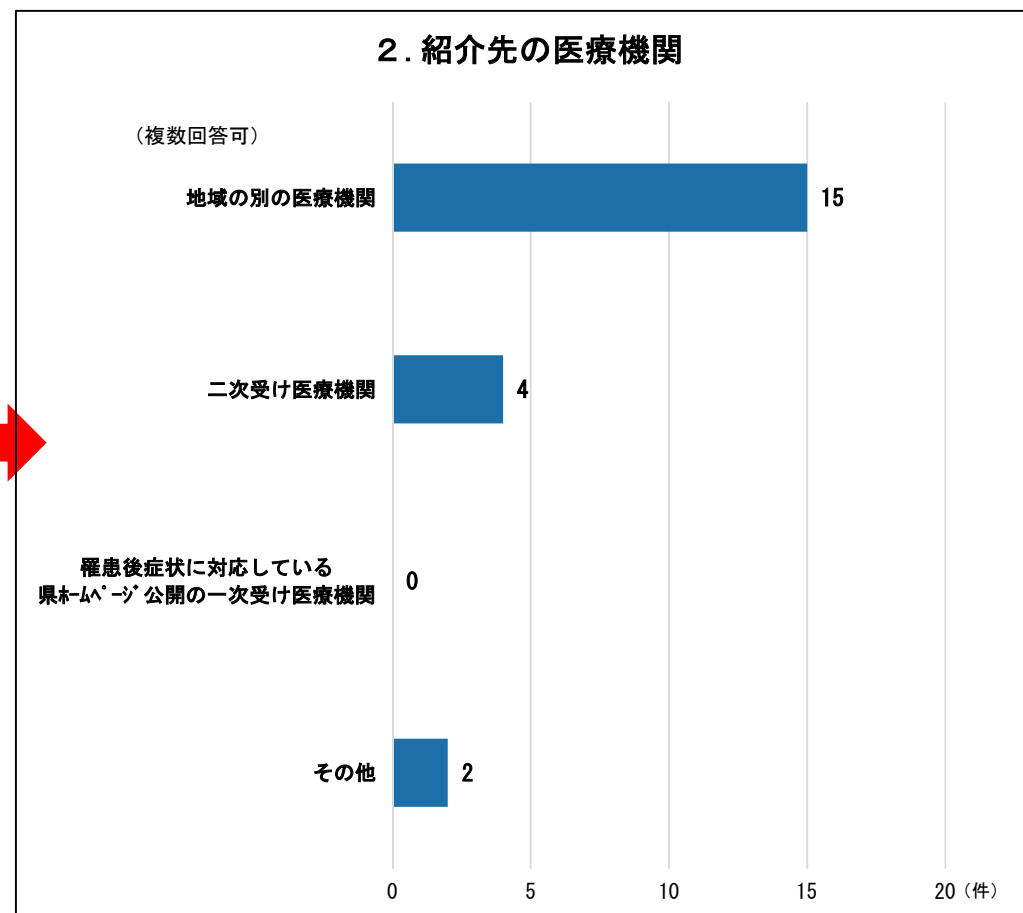
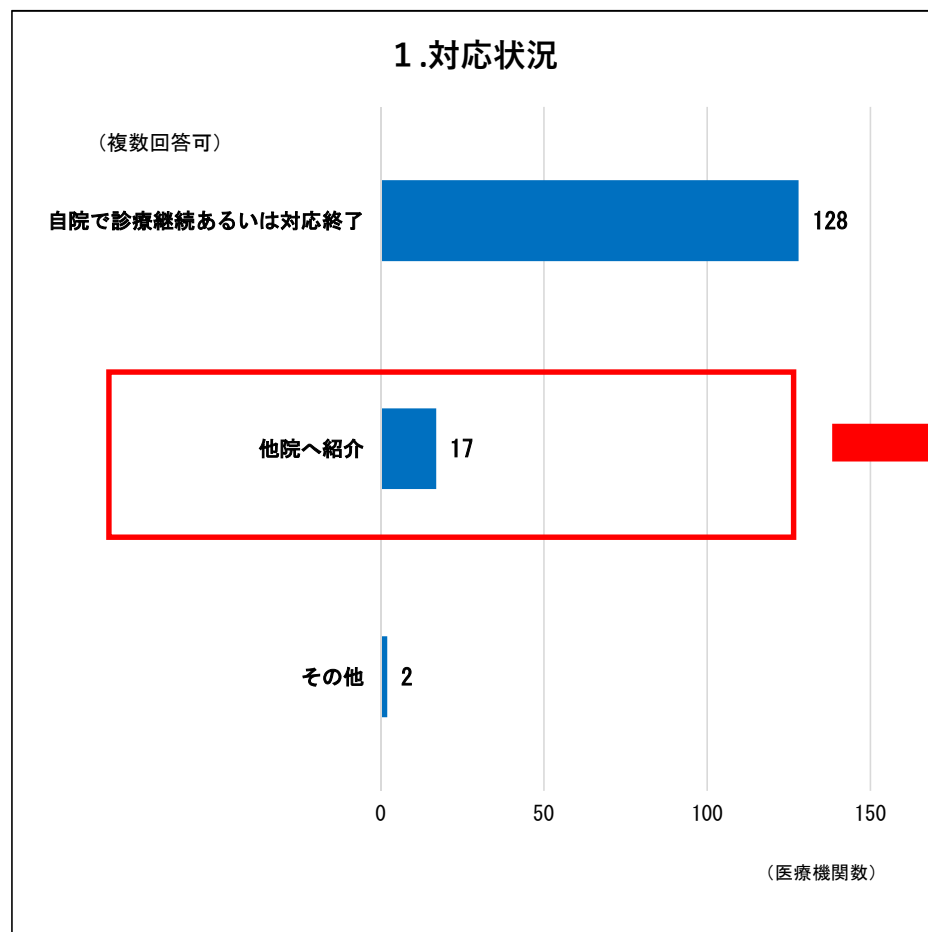


(その他の内訳) ・かかりつけの患者で呼吸器症状があった患者に処方した。
 ・後遺症外来として表記していないため、来所されているかわからない 等

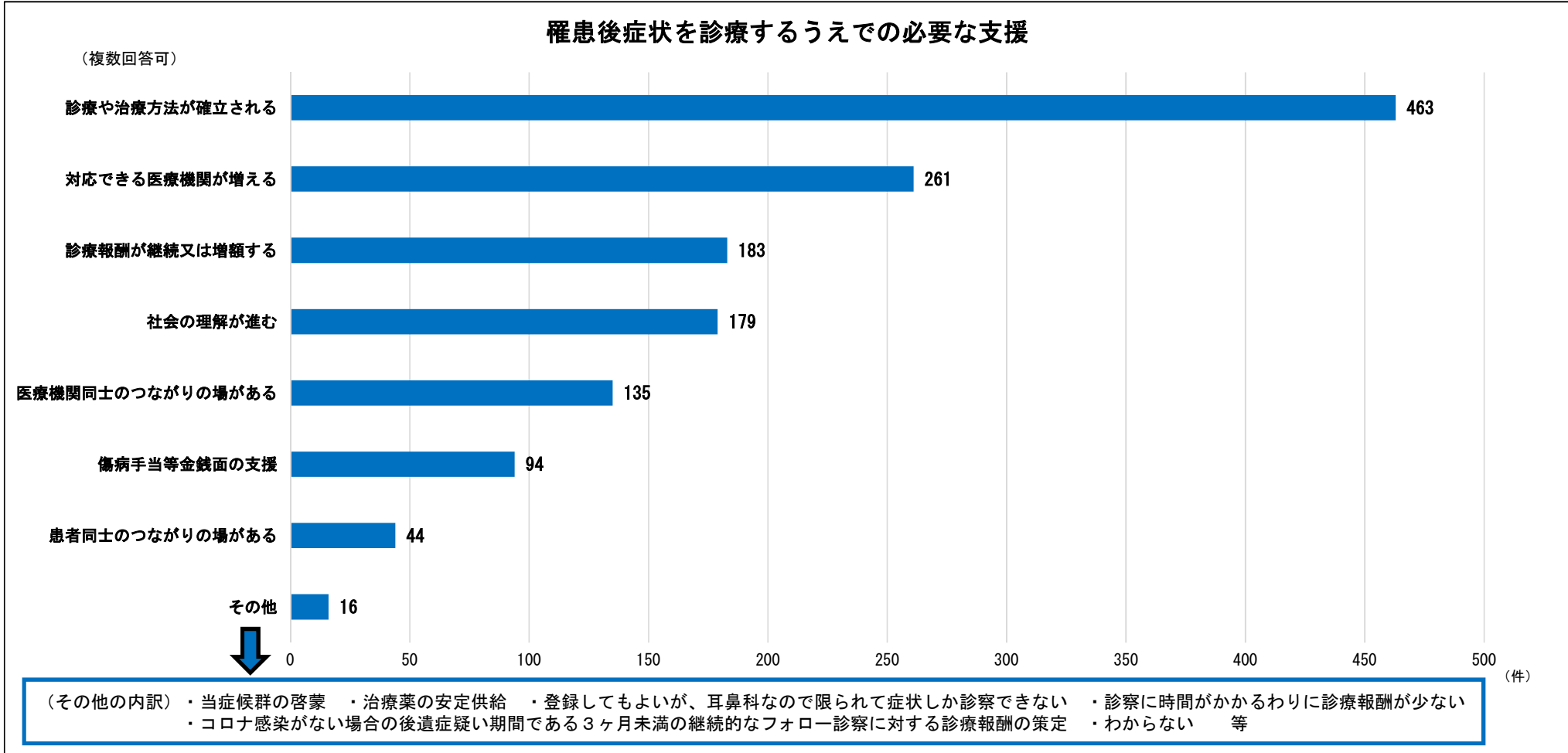
4-3 調査結果_非登録医療機関の診療人数、受診契機、症状



4-4 調査結果_非登録医療機関の他医療機関への紹介状況



4-5 調査結果_非登録医療機関の罹患後症状を診療するうえで必要な支援



5. 主な結果

1) 罹患後症状の対応状況

罹患後症状の患者に対する診療は、罹患後症状対応医療機関として登録いただいている医療機関だけではなく、非登録の多くの医療機関で対応いただいている実態があった。

2) 訴えの多い症状の傾向

訴えの多い症状は、倦怠感、持続する咳、味覚・嗅覚障害、頭痛など、他の調査でも明らかになっている傾向と同様だった。

3) 受診契機

直接来院するケースが多いが、罹患後症状対応医療機関では、他医療機関からの紹介によるケースも一定数あった。

4) 他医療機関への紹介状況

罹患後症状対応の一次受け医療機関から他の医療機関を紹介する場合は、二次受け医療機関（4大学）と地域の別の医療機関が同数程度だったが、非登録医療機関の場合は、地域の別の医療機関を紹介するケースがより多かった。

5) 罹患後症状対応医療機関に登録していない理由

非登録医療機関のうち、「ホームページの存在は知っており、コロナ罹患後症状に対応しているが、登録は不要だと思った。」、「コロナ罹患後症状に対応しているが、ホームページの存在を知らなかった。」という回答が約30%だった。

また、「コロナ罹患後症状に対応していないし、ホームページの存在も知らなかった。」という回答が約32%だった。

6) 罹患後症状を診療するうえで必要な支援

診療や治療方法の確立、診療報酬が継続又は増額、対応できる医療機関が増えるという回答が多かった。